

第15回議会報告会報告書

令和2年10月
広聴広報特別委員会

はじめに

本市議会における議会報告会は、議会基本条例に基づき初めて実施した平成24年8月を皮切りに、令和2年度の今回は第15回目の開催となった。

普段であれば、順調に計画を立て、実施に至るのだが、今回は、未だに世界規模で多大な影響を与えている、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている状況であるため、委員会内でも慎重に経緯を伺っていたが、実行か中止かを決定する5月でも、依然として落ち着く状況ではなかった。ちょうど同じ時期に議会では、議会活動についての取り決めがあり、「議員以外との一般市民との接触を伴う議会活動については、原則として行わない」となった。

しかし、広聴広報特別委員会では、毎回行ってきた議会報告会及び意見交換会は、議会として市民との声を伺う貴重な機会であることから、コロナ禍においても事業実施可能な手法について協議を行った。その結果、今回はICTを活用した、インターネットを使用するの議会報告会及び意見交換会を行うことになった。

以下はその報告となるが、事業実施にいたっては、委員、事務局の理解と協力があったからこそ開催することできたと考えており、他自治体の議会では、軒並み議会報告会を中止、延期にしている現状からすると、コロナ禍においても、議会基本条例に則り、議会の報告を行えたこと、また意見交換として市民の声を伺う機会を手法を変えたとはいえ、開催に至ったことは、議会の活動としても大きな収穫となったと同時に、市民への周知や機会の提供が出来たのではないかと考える。

那須塩原市議会報告会実施要綱第11条の規定により、議会報告会報告書を本書のとおり提出する。

目次

はじめに	1
1 第15回議会報告会実施概要	2
2 聴取した意見	6
3 考察	106

1 第15回議会報告会実施概要

実施体制について

- 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、公民館等では実施せず、ICTを活用する手法を用いることとし、インターネット上で実施した。

実施期間について

- 令和2年7月17日～令和2年9月30日（アンケート回答期間）

広報活動について

- 議会だより86号（令和2年8月20日発行）に記事を掲載した。

内容について

全体の構成について

- 議会報告会の内容は、通常実施している形式に倣い、2部制で実施した。
- 市議会ホームページ上に、「第15回議会報告会及び意見交換会ページ」を作成。このページに議会報告、意見交換のコンテンツを掲載した。
- 第1部の議会報告は、議会報告動画を作成し、YouTubeにアップロードした。
- 第2部の意見交換は、市議会ホームページにアンケートページを作成した。

議会報告について

- 広聴広報特別委員会で報告内容を協議して決定し、撮影も行った。

定例会
令和元年第5回定例会（12月）
令和2年第1回定例会（3月）
令和2年第3回定例会（6月）※

※第15回議会報告会ページの公開が当該定例会閉会后となることから3定例会の報告を行った。

- 撮影は、用意した原稿を読む姿を撮影し、その後編集で補足説明用のスライドを追加した。
- 撮影及び編集は、iPadproを使用した。

意見交換について

- 意見交換は、市ホームページ上でのアンケートに代えた。
- 意見交換の趣旨説明を撮影し、議会報告動画同様に公開した。
- アンケートの内容は、常任委員会単位の班ごとに協議し、作成した。

テーマ	担当常任委員会（班）
自治会の課題	総務企画常任委員会（第1班）
男女共同参画社会	
不登校対策	福祉教育常任委員会（第2班）
子どもの貧困対策	
6次産業化	建設経済常任委員会（第3班）
生乳生産本州一	

再生回数及び回答数

議会報告動画再生回数

9月30日時点

動画名	担当議員	再生回数
議長挨拶	吉成 伸一	323
委員長挨拶	齊藤 誠之	262
令和元年第5回定例会（12月）報告	森本 彰伸	167
令和2年第1回定例会（3月）報告	益子 丈弘	177
令和2年第3回定例会（6月）報告	齋藤 寿一	232
意見交換説明	星 宏子	238
総務企画常任委員会アンケート説明	星野 健二	132
福祉教育常任委員会アンケート説明	中里 康寛	164
建設経済常任委員会アンケート説明	山形 紀弘	157
その他アンケート説明	平山 武	131
	合計	1,983

アンケート回答数

9月30日時点

テーマ	回答数
自治会の課題	14
男女共同参画社会	7
不登校対策	16
子どもの貧困対策	23
6次産業化	5
生乳生産本州一	5
その他	2
合計	72

※全て記述式のアンケート

これまでの参加者数

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
開催年月	H24.8	H25.11	H26.5	H26.11	H27.5	H27.11	H28.5
参加者数	220	93	89	91	97	60	70

	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
開催年月	H28.11	H29.11	H30.5	H30.11	R元.6	R元.11	R2.2
参加者数	94	62	66	78	23	70	152

		第15回	
開催年月		R2.7.17~9.30	
再生回数	アンケート 回答数	1983	72

実施経過

期日	会議名	内容
4/10	広聴広報特別委員会	インターネット上での開催とすることに決定
4/16	議員全員協議会	実施形式の変更を報告
同日	各班会議	アンケートの作成を開始
4/23	広聴広報特別委員会	動画内容とアンケート内容協議
6/2	広聴広報特別委員会協議会 (オンライン)	役割分担を協議
6/5	各班会議	アンケート内容の決定
6/29	広聴広報特別委員会	報告動画の撮影
7/14	広聴広報特別委員会	報告動画とアンケート内容の最終確認
7/16	議員全員協議会	報告動画とアンケートの公開を報告
7/17	-	市議会ホームページ上で一般に公開を開始



2 聴取した意見

アンケートの回答

○アンケートの回答は、回答者の意思を尊重するため、誤字脱字のみ修正しています。

自治会の課題

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 あなたは自治会に加入していますか。

設問 3 自治会では、地域に密着した様々な活動を行っています。(地域の防犯・防災活動や環境美化活動、親睦活動、広報活動など) 今後、自治会の必要性がさらに高まると思われませんが、どのような活動に力をいれたらよいと考えますか。

設問 4 近年、まちで出会っても言葉を交わすことが少なくなり、挨拶も乏しい状況で人間関係の希薄化が進んでいる中、地域のコミュニケーションを促進するために、取り組むべき事はどのようなことですか。

設問 5 少子高齢化の進行や生活スタイルの多様化で自治会の加入率が低下傾向にあります。自治会の運営上の課題と問題点はどのようなことだと思いますか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
1	市民である	加入している	防災です。	児童の挨拶の励行。	紙媒体と文書記事を減らして画像動画の多い情報発信への切り替え。
2	市民である	加入している	今の自治会は役職が多く、面倒くさいと感じる人が多いのではないかと。今までの自治会組織では、この先存続できるか不安です。 できるだけシンプルな自治会に変えてゆく必要があると思います。	車社会のこの地域では、コミュニケーションを増やすことは容易ではありません。 お金をかけずに趣味娯楽が楽しめるようでない、コミュニケーションの場を作るのは難しいと考えます。	自治会に入ると、強制的にやらなければならない事が多くあると思います。市も自治会に頼る事を減らし、もっと気軽に自治会に入れる様なシステムに変えていく。

			今まで行ってきた活動で残すべきものは、ボランティア活動として行うべきではないかと考えます。		そもそも、自治会に入らないとゴミを捨てられない様な仕組みにも問題があります。
--	--	--	---	--	--

自治会の課題

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 あなたは自治会に加入していますか。

設問 3 自治会では、地域に密着した様々な活動を行っています。(地域の防犯・防災活動や環境美化活動、親睦活動、広報活動など) 今後、自治会の必要性がさらに高まると思われませんが、どのような活動に力をいれたらよいと考えますか。

設問 4 近年、まちで出会っても言葉を交わすことが少なくなり、挨拶も乏しい状況で人間関係の希薄化が進んでいる中、地域のコミュニケーションを促進するために、取り組むべき事はどのようなことですか。

設問 5 少子高齢化の進行や生活スタイルの多様化で自治会の加入率が低下傾向にあります。自治会の運営上の課題と問題点はどのようなことだと思いますか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
3	市民である	加入している			
4	市民である	加入している	防災対策	各自治会の強化	自治会のピーアールの不足 自治会の必要性の分かり易い説明
5	市民である	加入している	防犯	レクリエーション活動	高齢化
6	市民である	加入している	現状のままでよいが、高齢者をいかに、参加させるかを考える必要があると思う。	知り合いがいなため下を向いて歩いている。 現役、退職後でも、自治会活動、行事に参加させるよう仕向ける。	住民税の一部に自治会費を入れて、災害時に自治会、町内会の人たちが助け合うようにすべきだと思う。
7	市民である	加入している	広報活動。 特に若い世代は自治会の必要性を感じていない人が多く、自治会が何をしているのかわからないという人も多い。	地域学校協働活動をとおして、地域の大人と子どもたちのふれあう機会を増やすこと。	男性中心の組織体制を変えること。 また、今の役員現役世代(60代後半～70代)が、若い世代を批判せず、意

			SNS を利用するなどして自治会を身近に感じてもらえるような活動が必要。		見を受け入れる柔軟性をもつよう努めること。
--	--	--	--------------------------------------	--	-----------------------

自治会の課題

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 あなたは自治会に加入していますか。

設問 3 自治会では、地域に密着した様々な活動を行っています。(地域の防犯・防災活動や環境美化活動、親睦活動、広報活動など) 今後、自治会の必要性がさらに高まると思われませんが、どのような活動に力をいれたらよいと考えますか。

設問 4 近年、まちで出会っても言葉を交わすことが少なくなり、挨拶も乏しい状況で人間関係の希薄化が進んでいる中、地域のコミュニケーションを促進するために、取り組むべき事はどのようなことですか。

設問 5 少子高齢化の進行や生活スタイルの多様化で自治会の加入率が低下傾向にあります。自治会の運営上の課題と問題点はどのようなことだと思いますか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
8	市民である	加入している	単身世帯の増加とともに、共同体としての自治会の存在価値は上がると想定する。	時間的制約が少ない自治会への関与の方法。具体的案は浮かばないのが悲しい。 時間的制約が、自治会参加への障害の主であると感じている。	自治会の数をもっと少なくしてよいと思う。3 から 4 の自治会を統合しても十分活動意義はある。
9	市民である	加入している	人と人のつながりを作る活動	あいさつ運動	若い世代の参加と高齢者の自治会脱退
10	市民である	加入している	次世代育成、地域防災、地域における女性の地位向上。	官民協働となる仕組みづくり。	後継者育成と次世代の意見を聞く機会がない。 また、子育て世代が興味関心を持つ自治会運営ができていない。

自治会の課題

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 あなたは自治会に加入していますか。

設問 3 自治会では、地域に密着した様々な活動を行っています。(地域の防犯・防災活動や環境美化活動、親睦活動、広報活動など) 今後、自治会の必要性がさらに高まると思われませんが、どのような活動に力をいれたらよいと考えますか。

設問 4 近年、まちで出会っても言葉を交わすことが少なくなり、挨拶も乏しい状況で人間関係の希薄化が進んでいる中、地域のコミュニケーションを促進するために、取り組むべき事はどのようなことですか。

設問 5 少子高齢化の進行や生活スタイルの多様化で自治会の加入率が低下傾向にあります。自治会の運営上の課題と問題点はどのようなことだと思いますか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
11	市民である	加入している	まず自治会費が高すぎる。 自分に関係ない所で使われるものに金を払うのに抵抗があります。	知らない子に声かけただけで不審者扱いされる世の中で、コミュニケーションを推進するのは難しい。	地元の年寄りが力を持ちすぎていて、若者の意見に耳をかさない。
12	市民である	加入している	○地域防災活動 ○青少年育成活動 ○高齢者による高齢者のための見守り仲間づくり活動	○公立公民館や自治公民館活動の活性化による仲間づくり、人づくりによる最終的な地域づくり活動への誘導 ○こどもたちを地域人、市民として育てていく活動の推進 ○地域学校協働推進本部の活動だけでなく地域の自治会、団体の活動の活性化が必要	自治会加入のメリット、デメリット論がある。今の状態では未加入者のただ乗りを許す地域づくりになっている。 自治会は未加入のデメリットがはっきりしない。対行政の中で自治会加入がメリットになることを打ち出すべき。 就労年齢の高齢化により地域活動ができる人が限られてきている。従

					来の自治会活動を現役時代からできるものに変えていく努力が自治会側にも求められている。
--	--	--	--	--	--

自治会の課題

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 あなたは自治会に加入していますか。

設問 3 自治会では、地域に密着した様々な活動を行っています。(地域の防犯・防災活動や環境美化活動、親睦活動、広報活動など) 今後、自治会の必要性がさらに高まると思われませんが、どのような活動に力をいれたらよいと考えますか。

設問 4 近年、まちで出会っても言葉を交わすことが少なくなり、挨拶も乏しい状況で人間関係の希薄化が進んでいる中、地域のコミュニケーションを促進するために、取り組むべき事はどのようなことですか。

設問 5 少子高齢化の進行や生活スタイルの多様化で自治会の加入率が低下傾向にあります。自治会の運営上の課題と問題点はどのようなことだと思いますか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
13	市民である	加入している	お年寄りの見守り	世代毎に温度差があり(若年層は、仕事で忙しい)、案を出す事すら難しい印象である。	共働き世代にとっては、自治会に入ると休日も時間が割かれる事があるので負担感がある。 また、高齢者世代との関わりも押し付けの様な所があり、関わり方を面倒と思う若年層が多い印象がある。
14	市民である	加入している	<p>今後は、自治会の必要性は低下すると思います。</p> <p>地域の繋がりや、各世帯が希望したときにその窓口が明確に分かればいいので、転入時の案内や SNS、広</p>	慣例で続けられ、持ち回り制で参加を強いられる行事ではなく、自発的有志が集まったイベントや、田園空間博物館、子育てサロンなど既に行われている施策を活用し、公民館区などで対象地域を絞って行うこと	<p>1 加入者を歓迎する土壌がない</p> <p>2.負担が大きすぎる</p> <p>3.加入するメリットが見出せない</p> <p>本来、税を納めている市民なら等しく受けられるはずのゴミ集積所の</p>

		<p>報、公共施設での情報提供で十分な役割を果たすと思います。</p> <p>市民の一部が参加している自治会に頼るのではなく、全市民が対象となる活動に力を入れることが今後は求められていくと考えます。</p>	<p>で、地域の繋がりを促進できるのではないかと思います。</p> <p>同調圧力で参加させるのではなく、楽しい・面白いと感じながら参加するものでなければ、今の時代は続かないと思います。</p>	<p>管理を自治会が行うなど、そもそもの不信感が根底にあり、自治会によっては高額な自治会費を請求されたりと、その運営の不透明さが加入率を下げていると思います。</p>
--	--	---	---	---

設問 6 自治会と行政がまちづくりを進めるために必要と思われる取組みはどのようなことですか。

設問 7 自治会の活動は、「地域で人と人とのつながりをつくる」という大切な役割を果たしています。自治会活動の支援策として行政に求める事はどのようなことですか。

設問 8 自治会やコミュニティが必要と感じる時は、どのような時ですか。

設問 9 自治会は住民や行政にとっても大切な機能、役割があります。時代に即した新しい形に変えることは必要と考えますが、御意見をお聞かせください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
1		活動内容を広く全体に発信する	祭礼や防災訓練	
2	<p>自治会費や寄付募金の強制的な集金を廃止する。</p> <p>年代の違う方々がコミュニケーションを取るとはとても大変で難しい事だと言う事を考えた上でどうして行くべきか考える必要がある。</p>	<p>○自治会にできるだけお金のやり取りをさせない。</p> <p>○街路灯の事を、防犯灯と言わせてはダメ。市道を照らす灯りを自治会が管理しているのはおかしい。</p> <p>○消防団への寄付（後援会費）は必要な経費なら市が負担し、昔ながらのやり方は見直すべき。消防団のシステムも変わっている。</p> <p>○活動費の補助金を充実（金額はさておき、期間や人数など多岐に渡って）するのが良いのではないかと思う。</p>	<p>○引っ越して来たとき。</p> <p>○子供がいる場合。</p> <p>○災害が起きた時。</p>	<p>日本全国で、6人に1人が貧困と言われている。所得全国4位の栃木県では、格差は全国平均以上と考えるべき。</p> <p>お金も時間も余裕のある人は、自治会がなくても自分でコミュニケーションをとれる人が多いかもしれないが、お金も時間も余裕の無い人は、わざわざ自治会に参加するだろうか。</p> <p>今のままのやり方で加入者を増やす事は無理。班長、副班長、体育委員、防災部、婦人防火部等、みんなやりたいとは思わない。班長以外、自治会に必要だろうか。</p>

				<p>地域差があるが、市としての基本となる自治会組織を作ったら良いのではないかと思う。最低必要なシステムとあってはいけないシステムを決めてはどうか。</p> <p>また、SNS などインターネットの活用は必須と思う。</p>
--	--	--	--	--

設問 6 自治会と行政がまちづくりを進めるために必要と思われる取組みはどのようなことですか。

設問 7 自治会の活動は、「地域で人と人とのつながりをつくる」という大切な役割を果たしています。自治会活動の支援策として行政に求める事はどのようなことですか。

設問 8 自治会やコミュニティが必要と感じる時は、どのような時ですか。

設問 9 自治会は住民や行政にとっても大切な機能、役割があります。時代に即した新しい形に変えることは必要と考えますが、御意見をお聞かせください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
3				自治会でのいじめや暴力がなくなれば良いと思う。
4	自治会と行政の密な関係	○自治会に行政の人間を常に密接にする ○助金の支給	○困難が生じた時 ○一人で解決出来ない時	住民はあまり自治会の必要性を感じていない。 いかに自治会の必要性を訴えるかが課題。
5	情報交換	補助金の増額	清掃活動、冠婚葬祭	世代を超えた参加や活動ができるような、運営を行う
6	現役若手に地域内に興味を持つよう仕向ける。	○前問と重複しますが、自治会費を払い参加させること（役員が少なく若手がいいため）が第一。 ○行政は質問に対し、「考えます、検討します。」でなく、まずは実行してみるべき。経費が莫大なら検討すべきである。	現時点ではあまりない。なぜなら、当地区では被害の発生確率が少ないため。	老若男女が地域密着しておらず、発言の場がない為、意見が聴けない。

設問 6 自治会と行政がまちづくりを進めるために必要と思われる取組みはどのようなことですか。

設問 7 自治会の活動は、「地域で人と人とのつながりをつくる」という大切な役割を果たしています。自治会活動の支援策として行政に求める事はどのようなことですか。

設問 8 自治会やコミュニティが必要と感じる時は、どのような時ですか。

設問 9 自治会は住民や行政にとっても大切な機能、役割があります。時代に即した新しい形に変えることは必要と考えますが、御意見をお聞かせください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
7	<p>自治会の必要性や、どんな活動をしているかを広く市民に知ってもらうこと。</p> <p>また、少子高齢化により、税収が減ることにより、将来的には公的サービスも今のように行き渡らなくなり、お互いに助け合いながら生活することが求められることを理解してもらうこと。</p>	<p>学校 HP のような、自治会の情報発信の場(ツール)をつくること。</p>	<p>今のところはない。</p> <p>ただし、必要性は感じないが地域に住む責任として参加すべきだと思う。</p>	<p>行政、学校、コミュニティ、自治会、社協など、いろんな組織がバラバラなことをやっている感じがする。</p> <p>それぞれが本当の意味で連携していくことが必要だと考える。</p>
8		<p>速やかな判断と行動。いずれもが緩慢。</p>		
9	<p>行政は縦割りなので同じようなお願いが別々にくる。課を超えて内容を精査してほしい。</p>	<p>自主防災や災害時避難行動要支援者制度、地域の見守り活動などすべてがつながるので行政で整理してほしい。</p>	<p>災害時の助け合い</p>	<p>地域性による。一番はそこで安心して暮らしていけること。</p>

設問 6 自治会と行政がまちづくりを進めるために必要と思われる取組みはどのようなことですか。

設問 7 自治会の活動は、「地域で人と人とのつながりをつくる」という大切な役割を果たしています。自治会活動の支援策として行政に求める事はどのようなことですか。

設問 8 自治会やコミュニティが必要と感じる時は、どのような時ですか。

設問 9 自治会は住民や行政にとっても大切な機能、役割があります。時代に即した新しい形に変えることは必要と考えますが、御意見をお聞かせください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
10	官民協働	自治会には行政職員も住んでおり、職員でありながら市民であることを忘れず、それぞれの役割を理解し合える関係づくりを構築していくことが重要である。	東日本大震災時に地域のつながりの重要性を再認識した。	<p>コロナ禍である今、つながりが失われているからこそ、この危機を乗り越える新しい手法が必要とされています。</p> <p>「強く温かい組織、コミュニティ」を推進するにはこれまでの活動によって蓄積されてきた関係性という資産を減らすことなく、高めていくことが重要である。</p> <p>「強くあたたかい組織」を作るための要素として、理念共感・自己有用感・居心地の良さがあり、これらの要素を実現させるキーワードは、理念の共有・役割と出番・相互理解が必要です。</p>

				<p>コミュニティや行政は、社会に つながり・居場所・拠り所を育む担 い手です。</p> <p>今後、深化していく、また新たに 出現する社会課題に向き合う体力 と変化に恐れぬ知力が重要と考 えます。</p>
--	--	--	--	---

設問 6 自治会と行政がまちづくりを進めるために必要と思われる取組みはどのようなことですか。

設問 7 自治会の活動は、「地域で人と人とのつながりをつくる」という大切な役割を果たしています。自治会活動の支援策として行政に求める事はどのようなことですか。

設問 8 自治会やコミュニティが必要と感じる時は、どのような時ですか。

設問 9 自治会は住民や行政にとっても大切な機能、役割があります。時代に即した新しい形に変えることは必要と考えますが、御意見をお聞かせください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
11	年寄りと若者の、意見交換など	自治会費の負担	子供が学校に行くようになったり	
12	<p>子どもたちに地域を意識させる教育、活動の展開である。</p> <p>今の大人たちに求めるのは遅すぎる。子どもたちが地域や市を意識して育つ仕組みを援助する。若しくは実行する。</p> <p>本当の子ども会（自分たちの自治活動をもつ）の復活ができれば、10年後、20年後に町を自分事と考える市民が育つだろう。</p> <p>そのためには、子どもたちに関わる人たちの再教育、視点の持ち直しが必要だ。学校教育だけでなく社会教育に関わる人たちの意識、待遇、関係職員の意識改革と支援が必要。</p>	<p>行政に求めることは、条件整備、人、金、物である。</p> <p>人は自治会の指導助言ができる人間が必要だ。事務的なことも援助できる（代わりにやることではない）姿勢が問われている。</p> <p>自立した団体運営ができるかどうか。それが地域づくりの要である。</p> <p>金は活動資金、補助金だ。それは一律に無限に出すものではなく、タイムリーに育てる視点でだせるか。（自治会としても自己資金の開拓が必要なのはいうまでもない。）</p>	<p>顔を知り、名前を知っている関係があることは、つながりを確認できて居心地がよくなるだろう。そのために自治会やコミュニティは事業を展開している。</p> <p>そして、その関係はいざという時に発揮するものだろう。その「いざという時」が起きないことが一番だが、それを頭の隅に意識して活動することは必要である。</p> <p>自治会、コミュニティとその担当範囲は違うか、その連携がうまくとれていることが、青少年、高齢者等の関係づくり、人づくりにも生かされ、結果として地域づくりになるだろう。</p>	<p>時代とともに自治会加入率が減少している。住民にとって本当に必要なものは何か。例えば、行政が広報を新聞折込にすることにより、自治会加入のメリットの一つはなくなるだろう。最もそれ以前に HP で広報がみられるのであるが。</p> <p>今、情報格差が大きな問題になっている。自治会加入の有無で情報補償がどれだけ違いがあるのか。デジタル世代とアナログ世代では情報の受け取り方、量が全然違う。行政は全てを相手にするわけだが、その違い毎に細かく対応することも必要だと思う。ネット</p>

	<p>自治会の中で、婦人会、老人会、子ども会などがこれから組織できるか。</p> <p>地域の中で自分たちの活動を民主主義的に解決する訓練を積み重ねていくことが大切。</p> <p>今までのように行政が地域団体を利用するだけの関係では育たない。まさしく協働の視点が必要になっている。行政側に本当に協働の視点を持てるかどうかポイントだろう。</p>	<p>最後に物であるが、黒磯地区には自治公民館が少ない。それを政策誘導することはできないか。</p> <p>今更、新しく作るのは大変である。借地、借家で自治公民館を創る援助はできないだろうか。自治会毎にたまり場としての自治公民館、集会所があれば、高齢者の居場所、子どもたちの居場所（子ども食堂等）や三世代交流の場所を創ることができる。</p> <p>都市化の中で空き家の有効活用、空き店舗の有効活用を自治振興策としてできないだろうか。</p>		<p>やスマホに頼ることも各戸配布も同時に必要なのだ。</p> <p>情報格差の解消を図りつつ時代の変わり目として様々なことにチャレンジしてほしい。</p>
--	---	---	--	--

設問 6 自治会と行政がまちづくりを進めるために必要と思われる取組みはどのようなことですか。

設問 7 自治会の活動は、「地域で人と人とのつながりをつくる」という大切な役割を果たしています。自治会活動の支援策として行政に求める事はどのようなことですか。

設問 8 自治会やコミュニティが必要と感じる時は、どのような時ですか。

設問 9 自治会は住民や行政にとっても大切な機能、役割があります。時代に即した新しい形に変えることは必要と考えますが、御意見をお聞かせください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
13	いかに若年層を取り込むかだと思う		子どもの見守り	<p>若年層が自治会の必要性について疑問を抱いている。今後少子高齢化が進めばイベントに参加できないのに自治会費だけを払って行くのは負担になる。</p> <p>自治会で集める募金についても、額が少ないなど自治会長から指摘されたり組織の仕組みについても自治会に入るメリットがないというイメージがある。</p>
14	<p>地域を知る活動の PR が必要。</p> <p>例えば、那須塩原市の広報誌は見やすく、読みたくなる紙面づくりがなされていますが、その他の紙書類は文字の羅列で、読みたくなるための PR・デザインが上手くないなど感じています。内容が面白かった</p>	<p>○自治会費の地域格差を緩やかにすること</p> <p>○地区公民館と自治会公民館の統合や協力、市民サービスに属するものの自治会管理をやめるなど</p>	<p>住み始めて数年なので、今のところゴミ集積所くらいで、自治会のありがたみはあまり感じていないのが実情です。</p> <p>子育てをして、サロンなどで地域の同じ立場のコミュニティがとてもありがたいと感じています。</p>	<p>自治会の行う範囲を縮小して会費を抑えていくこと(年間1万円未満が妥当だと思います)、ごみ集積所と自治会の完全切り離し、自治会の役割・範囲の明確化など、地域格差や強制感覚がなく参加する人が納得できる仕組みづくりが求め</p>

<p>り、大切だったりするだけにもったいないなと感じます。</p> <p>博物館や図書館などと連携して、少し狭い範囲での郷土史のツアーなど、地区参加型のイベントがあったら行ってみたいです。</p> <p>私は移住者で特に地域の歴史や風習を知らないため、新鮮で楽しめると思います。</p>		<p>同じ趣味や興味のある分野で繋がれる場があればもっと地域に根差した暮らしができるかと考えています。</p>	<p>られると思います。</p> <p>仕方なく入っているという運営方法では続かないと思うので、あくまでも任意で個人でも楽しめるイベント開催など、ノルマを課さない行事運営が必要だと思えます。</p>
---	--	---	---

男女共同参画社会

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 あなたの性別を教えてください。

設問 3 男女が社会のあらゆる分野で平等になるためには、どのようなことが必要だと考えますか。

設問 4 女性が結婚後や出産後も仕事を続けるためには、どのようなことが必要だと考えますか。

設問 5 男性が育児・家事に積極的参加するためには、どのようなことが必要だと考えますか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
1	市民である	男性	<p>性差があるので平等とするのがおかしいと思う。</p> <p>ただそれを差別ではなく区別と考え、かつ常にそれぞれで平等とは何か考え続けることが必要だと思います。</p>	自身の能力を高めておくこと。	育児や家事に興味を持つこと。その楽しみを感じられること。
2	市民である	男性	<p>年寄りの女性に対する偏見をなくす。</p> <p>若い人は男女平等の意識は高いと思います。</p> <p>子供が独り立ちしていない年代なら、夫1人の収入では大変で、共働きの夫婦も多いでしょうから。</p>	夫が家事育児をする機会を増やす事が大事。	<p>この地域は田舎なので、いまだに有給休暇を取ることすら良くない事と思っている人が沢山います。</p> <p>週休2日さえ普及していないように思われます。休むことも仕事です。つまり意識改革なので、こうしたから考えが変わるというものでもないかと。</p> <p>市民は、田舎に暮していると思っ ている人が多いですが、六本木と比べれば田舎ですが、東京にでも似た</p>

					<p>ような所はあります。ここが田舎なのではなく、人が田舎者なのです。</p> <p>長時間労働イコール偉いの時代ではなくなって来ている事を知る機会を作る。</p>
--	--	--	--	--	--

男女共同参画社会

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 あなたの性別を教えてください。

設問 3 男女が社会のあらゆる分野で平等になるためには、どのようなことが必要だと考えますか。

設問 4 女性が結婚後や出産後も仕事を続けるためには、どのようなことが必要だと考えますか。

設問 5 男性が育児・家事に積極的参加するためには、どのようなことが必要だと考えますか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
3	市民である	男性	基本的人権の尊重	子育て相談や子育て支援の充実	意識改革、職場の理解
4	市民である	男性	あえて平等にすべきでない。 なぜなら、事務職のみ平等の仕事で、それ以外体力、危険度からも無理と思う。	あえて続ける必要があるか考えるべきだと思う。 家事、子供を真剣に考えるべき。	必要と思わない。
5	市民である	女性	女性の地域リーダーの創出	女性が活動する職場や地域コミュニティの理解。特に男性における意識改革が最も重要である。	職場の理解
6	市民である	女性	あらゆる場面で平等でなくても良いと考えます。	○しっかりとした家庭 (夫の協力 精神面も含めて) ○社会の制度	家庭を大切にする思いやりの心 会社においても、みんなが育児時間等お互い様の時代になれば。
7	市民である	男性	昔からの男が上に立つと言う考えが無ければ平等になると思う	会社の配慮、男性の子育て参加、保育園の利用のしやすさ	会社の配慮

設問 6 ドメスティックバイオレンス(DV)をなくすためには、どのような対策が必要だと考えますか。

設問 7 セクシャルハラスメントをなくすためには、どのような対策が必要だと考えますか。

設問 8 男女共同参画社会の実現に向け、行政にどのようなことを期待しますか。

設問 9 男女共同参画社会の実現に向け、自由な意見をお聞かせください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
1	警察や行政がきちんと対応をすること。	女性がすぐにセクハラと被害妄想のように言わないこと。 女性からセクハラを受けた経験あり。	所管課が真面目に本気度を持って取り組むこと。 頭数の足りないイベントの時しか電話かけてこない。	
2	○気軽に相談できる窓口の設置 ○手軽にできる心と身体の健康診断	高齢者達に、やめろと言っても聞く耳持たないと思う。 交通安全と共通すると思いますが、子ども達への教育が大事だと思います。 子ども達がいけないことと分かっている事をするのは心がひけますよね。	期待していません。そもそも、アルバイトすらせず、民間企業で働いたことも無く市の職員になった人が沢山いるのに、何ができますか。 教員も含め公務員の皆さんの常識が世の中の常識とズレがあることを知る事からやらないと。	何事にも通じる事だと思いますが、見える化が必要です。 様々な項目のデジタル化。良くなった、変わらない、悪くなったが見えると良いのではないのでしょうか。
3	相談窓口の充実と、法整備	セクシャルハラスメントの講習会を企業や地域で十分に実施できる施策が必要	協働の概念を実現する社会の構築、依存型社会からの脱却	男女の相違、多様性の認知と理解を広め、認め合う社会をつくる
4	あまり考えたくない。	あまり考えたくない。	実現すると経費がかかり、税金の無駄使いになるので、あまり賛成したくない。	男女共同参画社会を全面に出すので無能な女性がうぬぼれ、駄目な男性が多くなると思う。

設問 6 ドメスティックバイオレンス(DV)をなくすためには、どのような対策が必要だと考えますか。

設問 7 セクシャルハラスメントをなくすためには、どのような対策が必要だと考えますか。

設問 8 男女共同参画社会の実現に向け、行政にどのようなことを期待しますか。

設問 9 男女共同参画社会の実現に向け、自由な意見をお聞かせください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
5	負の連鎖となる、幼少期からの虐待をなくすこと。	職場での個人の意識改革。	講演会を実施するだけでは効果は出ない。 女性の能力を発揮しつつ、主体的に生き方を選択することを支援する行政の施策が必要。	男女共同参画は、「女性」や「男性」というイメージにあてはめてしまうことなく、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮するために必要なことであり、地域共生社会の実現に欠かせない重要な役割である。
6	心が育たないで家庭をもって、独占欲や自己中心的な思いが押さえられないことが原因だと考えます。 一般的な対策だけでは、なかなか難しいと思います 子供の頃から、相手を思う心を育てる教育をしながら、変えていく必要を感じています。			
7	女性が SOS を出せる場所	相談場所があっても中々言い出せないと思うので防犯的なシステム	女性が SOS を出せる場所	相談場所があっても中々言い出せないと思うので防犯的なシステム

不登校対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 不登校について、全国的に増加傾向にあるなど、社会問題化している現在、この問題をどのように感じていますか。

設問 4 子どもたち（小中学生）が不登校にいたる理由は多岐にわたりますが、初期の段階で何かしら発信している「SOS」があると思います。
このサインを見逃さないために必要なことは何だと思いますか。

設問 5 子どもたち（小中学生）の「SOS」サインに気づいたとき、まずどのような行動をとるべきだと思いますか。または、とりましたか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
1	市民である	当事者	仕方ない。	保護者同士の交流。 そこから聞き出すしかないと思います。	親は子供の味方をし、相手が先生でも校長でも立ち向かうべき。 私は、学校の先生から子供の虐待を受けた子の母親です。 自分の子供も同じ目にあえばいいのと思う。 自分が同じ立場になれば、今後の虐待がなくなると思うので。
2	市民である	教育関係者又は児童委員	人間関係の希薄化を感じる。	専門知識を身につける。	保護した。
3	市民ではない	当事者の家族又はその知人	従来型の教育はもう時代に合わないのに、学校（国の教育に対する方針）が少しも変わらないからだと思う。	我が家の場合はまず、宿題が多すぎて毎日きちんと提出することができなかった。 文字を書くのが苦手な板書が間に合わず、学習に対してやる気を失っ	その時は学校に行かなくては子供の将来が心配だと思い込み、泣いている子供を無理矢理学校へ連れて行きました。

				<p>てしまった。「学校が楽しくない」「ずっと家にいたい」と言っていました。 (小学2年)</p>	<p>でもそれは間違いだったと今は確信しています。子供が疲れていたら学校を休ませるべきです。</p> <p>親は冷静に子供が何に困っているのかをきちんと聴き、本人はどうしたいかを一緒に考えるべきでした。</p>
--	--	--	--	---	---

不登校対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 不登校について、全国的に増加傾向にあるなど、社会問題化している現在、この問題をどのように感じていますか。

設問 4 子どもたち（小中学生）が不登校にいたる理由は多岐にわたりますが、初期の段階で何かしら発信している「SOS」があると思います。
このサインを見逃さないために必要なことは何だと思いますか。

設問 5 子どもたち（小中学生）の「SOS」サインに気づいたとき、まずどのような行動をとるべきだと思いますか。または、とりましたか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
4	市民ではない	この問題に関心がある	私自身、学校というのが苦手で苦痛に感じていた時期がありました が、早退させてもらっていたので、その時期もやり過ごせました。 居たくないのに 大人の話し合いだけで帰れないって辛いだろうと思います。 質問の答えになってないかな。	話を聞かせてもらえるようにする事ではないかと思います	焦らず 受け取り、寄り添う気持ちを伝えていく事。 言葉だけではなくて、こちらの気持ちを感じてもらえるように出来たらと思いました。
5	市民ではない	その他	とても大きな問題だと感じている。 子どもの不登校は、人とのつながりを断ち、時には家族とのつながりすら断つこともあります。 子どもの未来は、日本の未来です。	○親と学校と地域がつながっていること。 ○情報共有、相談できる環境が整っていること。	家族だけに留めず、学校や友達などでも、誰かに相談すること。

不登校対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 不登校について、全国的に増加傾向にあるなど、社会問題化している現在、この問題をどのように感じていますか。

設問 4 子どもたち（小中学生）が不登校にいたる理由は多岐にわたりますが、初期の段階で何かしら発信している「SOS」があると思います。
このサインを見逃さないために必要なことは何だと思えますか。

設問 5 子どもたち（小中学生）の「SOS」サインに気づいたとき、まずどのような行動をとるべきだと思えますか。または、とりましたか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
6	市民である	当事者の家族 又はその知人	不登校は問題ではなく、選択肢のひとつと考えています。学校が変わらなければ、今後も増え続けることは間違いないです。	家族であれば、信頼できる親子関係の構築。 日頃から子どもの声に耳を傾け、否定しない、共感することを心がける。	子どもの気持ちに寄り添う。共感する。 学校に行く、行かないは子どもの課題。 子どもが学校に行かなくて不安なのは親の課題。課題分けをし、過剰な心配をしない。
7	市民ではない	教育関係者又は児童委員	全国的に増加傾向にありますが、社会問題として捉えるのはなく、児童生徒の選択肢の一つとして学校に行かない選択を受け入れていただくことがこれからの那須塩原市の教育施策には必要だと考えます。 今後、どれだけ学校教育が変わっても不登校が0になることはありません。	不登校の原因は様々です。先生、友達との関係性がこじれることが大きいですが、一つの要因だけでなくいくつもの要因が複雑に絡み合って不登校になります。 その時のSOSのサインを見逃さないためには、まず、担任の先生が日々、生徒一人ひとりの表情や言動、	とにかく、時間を取って可能な限り子どもの声や言葉に耳を傾けることです。決して大人の都合や常識論を持ち出してはなりません。まずは、子どもの声を、心の声を聞けるかどうかで、その後の支援に繋がられるかが決まります。

		<p>せん。不登校をなくす、のではなく、学校教育があり続ける限り、不登校も同様に発生することを那須塩原市教育長が認識していただき、それから教育委員会、学校長へとその認識を広める必要があります。</p>	<p>行動に気を配り、僅かな異変に気づき、寄り添っていくことが何より大切です。</p> <p>学校で嫌なことがあっても、児童生徒は保護者家族には決して言いません。だからこそ、担任の先生や学年主任の先生が細心の注意を払うことが求められます。</p>	<p>SOS のサインの気づいた時に、大人が説教したり、子どもの声を遮って学校に行くのが当たり前のような常識論を言った途端、児童生徒の心は閉ざされ、長期間、声を聞けなくなります。</p> <p>児童生徒が納得するまで時間をかけて声を聞くこと、これができるかどうかにかかっています。</p>
--	--	--	---	--

不登校対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 不登校について、全国的に増加傾向にあるなど、社会問題化している現在、この問題をどのように感じていますか。

設問 4 子どもたち（小中学生）が不登校にいたる理由は多岐にわたりますが、初期の段階で何かしら発信している「SOS」があると思います。このサインを見逃さないために必要なことは何だと思いますか。

設問 5 子どもたち（小中学生）の「SOS」サインに気づいたとき、まずどのような行動をとるべきだと思いますか。または、とりましたか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
8	市民である	この問題に関心がある	<p>不登校は非常にネガティブなものという概念を変えていく必要がある。</p> <p>不登校となった、なりそうな場合にどこに接するかで、大人になるまでの成長が変わる。</p>	<p>スクールガードや安全パトロール時のちょっとした気づきを学校と共有できること。</p> <p>近所付き合いのなかでも気付けることはある。</p>	<p>まずはただただ、話を聞きます。</p> <p>キーワードになるような発言があれば、気にかけて、本人に聞けるようであれば具体的に聞きますが、難しければ変化を保護者に伝えます。</p>
9	市民ではない	当事者の家族又はその知人	<p>不登校は学校と子供の関係の問題で子供と学校の関係の破綻の結果が不登校。不登校になった子供が問題と思う社会が問題。不登校を生み出すのは学校である。</p> <p>一番は教育の場が学校しかないのが問題で、外国には学校が選べたりフリースクールや家庭で学べる仕組み</p>	<p>子供たちは無理をして頑張っているの、なかなかSOSに気づくのは難しいが、常日頃から一人の人間として子供と対等に接していることだと思います。</p> <p>そこで子供との信頼関係を築き上げていくことが大事だと思います。</p>	<p>休息を保障する。親や学校が家で安心して居られるように配慮する。学校を休んでも休息したことにはならない。</p> <p>むしろ、学校に行かないことで否定され、自己否定感を深め疲労は深まっている。</p> <p>子供がもし話をしてきたら 100%黙って話を聞く。一般論を言わない。</p>

			みが義務教育として認められたりする。不登校という概念がない。		全面的に子供の味方に徹する。今の状態の子供を認める。
--	--	--	--------------------------------	--	----------------------------

不登校対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 不登校について、全国的に増加傾向にあるなど、社会問題化している現在、この問題をどのように感じていますか。

設問 4 子どもたち（小中学生）が不登校にいたる理由は多岐にわたりますが、初期の段階で何かしら発信している「SOS」があると思います。このサインを見逃さないために必要なことは何だと思いますか。

設問 5 子どもたち（小中学生）の「SOS」サインに気づいたとき、まずどのような行動をとるべきだと思いますか。または、とりましたか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
10	市民ではない	教育関係者又は児童委員	<p>不登校が問題なのではなく、彼らがもともと通っていた学校に問題があると考えています。</p> <p>学校がもっと多様な価値観や柔軟な対応をおこなえば、不登校は減ると思います。また、その子にあった学校を選べる選択肢が少ないことも問題だと思います。</p>	<p>1 クラスに 40 人もの生徒がいれば、子どもたちが発する SOS を見落とすリスクは非常に高いと思います。</p> <p>思い切った少人数学級にすること、先生の数を増やして、たくさんの眼で子どもたちを見守れる体制を作ることが必要だと思います。</p>	<p>SOS の種類にもよりますが、まずは休むことの保障ができればと思います。そのためにも、学習の遅れなどに悩まなくても良い環境を作らなければなりません。</p> <p>子どもたちに年間 1 週間ほど、いつでも使える有給休暇があれば SOS への対応もしやすくなると思います。</p>
11	市民である	教育関係者又は児童委員	<p>教育機会確保法の施行にともない、行政があらためて問題の大きさを認識し、「学校以外の場で、児童と生徒が学ぶことの重要性」と「学校を休ませる必要性」について取り組み</p>	家庭教育	<p>子どもの声を聞き、学校と信頼ある関係を築く努力をした。</p>

			を始めたことは、とても大きな意味があると思う。		
--	--	--	-------------------------	--	--

不登校対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 不登校について、全国的に増加傾向にあるなど、社会問題化している現在、この問題をどのように感じていますか。

設問 4 子どもたち（小中学生）が不登校にいたる理由は多岐にわたりますが、初期の段階で何かしら発信している「SOS」があると思います。
このサインを見逃さないために必要なことは何だと思えますか。

設問 5 子どもたち（小中学生）の「SOS」サインに気づいたとき、まずどのような行動をとるべきだと思いますか。または、とりましたか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
12	市民である	その他	<p>子供たちが安心できる環境で育てこなかったことが、根本的な原因ではないかと考える。</p> <p>人間の一番大切な乳幼児期家庭での関わり、母子関係等が安定する関わりを重要視できる社会であれば、ここまで大きな問題にはならなかったのではないかと思います</p>	<p>○親子関係が良好なこと</p> <p>○先生との関係が良好なこと</p> <p>○友達との関係が良好なこと</p>	<p>○寄り添う</p> <p>○受け止める</p>
13	市民である	この問題に関心がある	<p>冬彦さん現象。</p> <p>親の思い込みが大きな原因ではないか。</p> <p>昔に比べ共働きの家庭が増え、親が勝手に子供とのコミュニケーション過多にしてしまっているのではないかと、子供をかまいすぎ。</p>	<p>SOS に気付けるのなら、こんなに不登校は増えない。</p> <p>教員の質が悪すぎるのではないのでしょうか。</p> <p>教員に社会的常識が無さすぎます。もっと新聞を読んだりニュースを見たりする時間を与えてあげない</p>	<p>どうしたら解決できるかを一緒に考える。</p>

			<p>どのような環境の子供が不登校になるのか分析が必要。</p>	<p>と、ますます質の悪い教員が増えてしまいます。</p> <p>我が国は資本主義国家です。大富豪もいれば貧乏人もいます。社会主義の一面を持っているのは公務員です。そこを理解できていない教員が多すぎると思います。</p>	
--	--	--	----------------------------------	--	--

不登校対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 不登校について、全国的に増加傾向にあるなど、社会問題化している現在、この問題をどのように感じていますか。

設問 4 子どもたち（小中学生）が不登校にいたる理由は多岐にわたりますが、初期の段階で何かしら発信している「SOS」があると思います。このサインを見逃さないために必要なことは何だと思えますか。

設問 5 子どもたち（小中学生）の「SOS」サインに気づいたとき、まずどのような行動をとるべきだと思いますか。または、とりましたか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
14	市民である	この問題に関心がある	このままだと増加する一方であるとかんがえます。 児童だけに限らず今現在 社会人の引きこもりも増加傾向です。まさに社会問題です。	<input type="checkbox"/> コミュニケーション <input type="checkbox"/> 何気ない会話 <input type="checkbox"/> 一人ひとりの何気ない行動言動にしっかりと目と耳を傾ける <input type="checkbox"/> 普段の会話からたくさんの発見がある	とにかく子供の存在意見を第一に受け止める。共感する。
15	市民である	教育関係者又は児童委員	大人社会の縮図である	家庭内の関わり	<input type="checkbox"/> 子供と向き合う <input type="checkbox"/> 家庭内の見直しも必要 <input type="checkbox"/> 学校との連携も大切
16	市民である	この問題に関心がある	子供の心身に影響を与えるものとして家庭環境が一番と考えている。そのため、学校で多少嫌なことがあっても家に帰れば安心できることが子供にとって必要である。学校でも家庭でも居場所がなければ当然引	不登校になる前及び普段の生活態度からサインを出していると思われる。そこで、親同士の会話で「〇〇ちゃんが最近〇〇だ」など、少しの変化を自分で感じ取り専門機関に相談する、といった仕組みが必要だと思う。	自分自身で似たような経験があったら、そのときのことを話してあげると聞く。

		<p>きこもってしまい、当然学校どころではない。</p> <p>そのような経験を子供時代にした者が親になれば、すべてではないが同じようなことが繰り返される。</p> <p>簡単な問題でないことはわかっているが、早期に解決しなければならぬと感じている。</p>	<p>ただ、自分も含め多くの大人は、よそ様のことにはあまり首を突っ込みたくないと思っているので、その意識を変えることが大切と思う。</p>	
--	--	---	---	--

- 設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。
- 設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
1	不登校になった子供は誰も信じませんよ。	そう簡単には対策できません。小さければ小さいほど、虐待がきっかけで発達障害になったからです。	そもそも不登校になっているのだから、行くわけない。	学校の先生が毎日迎えに来る。もちろん、子供が「この先生なら?」と思える先生。そして、その先生のクラスにするしかない。
2	スクールカウンセラー、相談員の資質向上。	専門職が業務にあたることが大切。	義務教育においてに限るが、学校への登校ではなく自宅や他施設での学習環境を整えるのは必要。 但し、学校教育に限らず社会教育も念頭におきたい。この場合は不登校に限らずである。	予算が必要。

- 設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。
- 設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
3	<p>現在の支援は続けて頂き、そこに加えて親の会の存在を親に知らせたいです。</p> <p>私は自力でネットで探し出し、親の会に参加することができました。</p> <p>そこで当事者や経験者の話を聞いたり、悩みを共有したりして落ち着きを取り戻すことができました。</p> <p>親が落ち着くと不思議と子供も落ち着いてきて不登校はしていても家の中は平和で穏やかな生活を送ることができました。</p>	<p>はっきり言って再登校だけがゴールではないと思います。</p> <p>再登校支援という言葉はあまり受け入れられません。ただでさえ不登校というだけで周りの目に怯え、自分を責めている子供にとって「自立」という言葉は更に追い詰めることにつながります。</p> <p>傷つきしんどい思いを抱えた子供はまずはゆっくり休むことが必要です。</p>	<p>家でゆっくり休めた子供は心のエネルギーが溜まると友達や多様な学びを求めて動き出します。そのタイミングで学校に戻りたい子もいれば学校以外の場所を求める子もいるでしょう。</p> <p>子供が居心地良いと思える場所が学校以外にあれば選択肢が増え、結果的に子供が自発的に自分の進路や将来について考える機会が増えると思うので地域に居場所やフ</p>	<p>私には思い浮かばないので不登校の娘に聞いてみました。</p> <p>今自分が興味のある、学びたいと思っていることを学ばせてくれる場所があったら通ってみたいとのことでした。</p> <p>因みに今娘が学びたいことは動物のお世話です。現在そのような場所はないので娘は毎週決まった日に保護猫のシェルターへ行きボランティア活動をしています。</p>

		<p>そのためには家が居場所になることが大切で、親と学校（学校という括りにとらわれず市町村でも良い）が連携して子供を見守ることができるような支援があれば助かります。</p>	<p>リースクールがたくさん増えたら嬉しいです。</p>	<p>人間関係に傷ついていた娘は動物には心を開き徐々に元気を取り戻しています。従来の学校のやり方に拘らずもっと自由な発想で柔軟にトライアンドエラーを繰り返しながら子供と一緒に作り上げてはいかがでしょうか。</p>
--	--	--	------------------------------	--

- 設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。
- 設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
4	<p>担当の方が変わらないでほしかった。</p> <p>やっとこちらの状況を説明してホッとしたところでの変更でした</p>	<p>イヤだと思っている場所には行けなくていい。</p> <p>行きたいと思える場所を探してあげたいです</p>	<p>中 2 の 3 学期から卒業まで いわゆる保健室登校でした。高校は本人の希望で私立を選択して、3年間充実した生活を送ったようです。</p> <p>その後は専門学校を卒業し、派遣ではありますが、仕事もやっております。</p> <p>本人がどこを目標にしているかで寄り添い方はかなり変わりますよね。</p>	<p>親の気持ちは先生から引きこもりになったら、と言われて怖かったです。行きたくないと訴える子を頭ごなしに怒って、一緒に登校する毎日でした。</p> <p>原因はそれぞれでしたが、3人の子供のうち二人がそうでした。</p> <p>その頃は、だれか、この子に寄り添ってくれる人がいないかなと思う毎日でした。有難いことに、上の子にはいまだにお世話になってい</p>

			<p>出来るだけ、本人の望む場所に居られるようにしてあげたいと思いました</p>	<p>る先生がいます。仕事ではなく、接していただいています。</p> <p>本音言えて、ちゃんと聞いてくれる人がいると心がほぐれていくようです。</p> <p>すべての質問と回答があってないと思いますが、その頃の気持ちを書かせていただきました。</p>
--	--	--	--	--

設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。

設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。

設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。

設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
5	民間のフリースクールや、不登校の親の会などへつなぎ、様々な選択肢を提示することが大事だと思う。	「登校することが絶対」「学校が正解」と考えている限り、不登校はなくならないと思う。 学校や教室に合わない子どもも絶対いるはず。その子が「学校に行きたくない」となったときに、他の場所を提示することができるかが重要だと思う。 学校だけが正解ではない。	どんどん推進して行ってほしいし、行政からとの連携もしてほしい。	○民間のフリースクールと行政の連携 ○地域の中で子どもや親を受け入れられる場所 ○そもそも「不登校=落ちこぼれ」の価値観の払拭
6	支援策としてスクールカウンセラーがいるのは良いことだと思いますが、月数回？学校にいらっし	学校復帰を前提としない、高根沢町のひよこの家のような施設が那須塩原市にもほしいです。	公設民営のフリースクールの設置を強く望みます。	子どもの支援も大事ですが、不安になっている保護者への支援や相談できる場があるといいと思います

	<p>やる程度の方に心を開いて子どもが相談できるかは難しいところだと思います。常駐できるといいですね。</p>	<p>適応指導教室なんて、名前だけで行きたくない。</p>	<p>学業の遅れはいつからでも取り戻せます。 将来の選択肢も無限にある、と知るべき。</p>	<p>ます。不登校は問題行動ではありません。 学校へ行く、行かないではなく、まず目の前で生きていてくれること、それが何より大切なことだと日々思っています。 不登校の子どもは、学校へ行かなければいけないと分かっています。そして、学校へ行けない自分はダメなのだと悩んでいたります。 昨年イベントを開催しましたが、「生きているだけで100点満点！」絶対大丈夫だと伝えられる場所や人が増えることを望みます。</p>
--	---	-------------------------------	--	---

- 設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。
- 設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
7	<p>不登校となった場合の支援策としてはスクールカウンセラーを心の教室相談員による相談は必要です。</p> <p>しかし、この両者はあくまでも学校内における対応となります。不登校となった瞬間から、スクールカウンセラー、心の教室相談員と同時にスクールソーシャルワーカーと連携し、家庭の様子や地域の繋がりを把握し、その上でスクールカウンセ</p>	<p>再登校支援策として、適応指導教室は重要です。しかし、学校復帰を前提とした適応指導教室は既に破綻している事実を認識するべきです。ご存じかもしれませんが、今から 17 年前に高根沢町は当時の町長の命の元、表面的な学校復帰を前提としない適応指導教室「高根沢町フリースペースひよこの家」を町内に設置しました。結果として今までに 120 以上の卒業生が出ていますが高校進学率はほぼ 100%です。</p>	<p>国は、平成 28 年 12 月に「教育機会確保法」を成立させ、翌年 2 月には全国で完全施行となりました。この「教育機会確保法」では施行当時とされたのは第 13 条です。</p> <p>この第 13 条には「休養の必要性を鑑み」と学制が始まって以来初めて、学校を休んでよいことが明記され、かつ「学校以外の場の重要性」と学校以外の学びの場＝多様な学びの場の必要性が謳われています。</p>	<p>大前提として、今まで書かせていただきましたように、不登校支援から学校復帰という文言を削除することです。</p> <p>これは文科省の通知にもあるように、これからは社会的に自立することを目指すとともに、学校に行けなければその児童生徒の家庭環境、地域の環境などに配慮し、学校に行けなくてもまずは学ぶ権利を守るための施策を策定することが重要です。</p>

<p>ラーや心の教室相談員が相談に乗ることが重要です。</p> <p>不登校支援を学校内だけで完結しようとした瞬間からその支援の方向性は間違ってしまう可能性がとても大きいことを認識してください。</p>	<p>学校復帰を前提とすることで学校を拒絶した児童生徒が、学校復帰を前提としないことで、児童生徒の心の中に学校復帰として選択肢が生まれたことはひよこの家では有名な話ですが、このように学校復帰を前提とするかしないかで、その後の児童生徒の進む道は 180 度違ってくると言っても過言ではありません。</p> <p>そのためには、高根沢町の様に公設民営に近い（高根沢町では教育相談員としてスタッフを採用していますので正式な公設民営ではありませんが、当時の首長は中の運営は民間に任せると公言され、結果として公設民営と同様な形になりました。）適応指導教室を設置することが必要であると言えます。既に関西では適応指導教室の運営を民間委託する教育委員会もあるように、官民連携のお手本のような仕組みを那須塩原市で構築することが重要であると考えます。</p>	<p>時代が変遷し、教育の在り方も変わりつつある今、学校復帰だけでは子どもを追い詰めてしまうだけです。</p> <p>学校に行けなければ学校以外の学びの場を確保することが必然となります。なぜなら、不登校で学校に来られない子どもの学びの権利を誰が守れるのでしょうか？</p> <p>前述した高根沢町の元町長、高橋克法参議院議員は 17 年前に町長室で歴史に残る名言を語りました。「何かしらの理由で学校に行けなくなった子ども達は学ぶ権利、遊ぶ権利、生きる権利を失われている。その子ども達が義務教育年齢ならば彼らの権利を守るのは町の義務だ。」是非、この言葉を那須塩原市長もご発言いただきたいです。</p> <p>つまり、既に法律で明記されているように学校復帰だけでなく、学校以外の学びの場をいかに那須塩原市に増やしていくか、そしてそれも含めて教育委員会が管理し、いつでも官民連携して不登校になる一人</p>	<p>教育機会確保法の第 13 条の意味と重要性、及び文科省からの通知、社会的に自立することを目的とする、ということを学校長は元より、現場の教員、特に担任をもつ教員に徹底して周知し理解を求めることです。家庭や地域が変わっても肝心の教員がいつまでも学校復帰を唱えていたらすべてが台無しになります。</p> <p>今回のコロナ時代を迎え、GIGA スクール構想で一人 1 台のタブレットが自宅にも持ち帰れるようになりました。不登校の子ども達にも同様になると考慮すると、学校に行けない、適応指導教室にも行けない、かつ塾もいけない不登校でひきこもっている児童生徒にもオンラインによる学習支援が可能になります。</p> <p>それを教育委員会が真剣に検討し、どのような仕組みが有効か、どのような関りならオンライン学習に繋がられるかを、学校、教育委員</p>
---	---	--	---

			の児童生徒の学ぶ権利、遊ぶ権利、生きる権利を守るべきです。	会、SC,SSC が総動員で研究検討することが何より求められることであると断言します。
--	--	--	-------------------------------	---

- 設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。
- 設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
8	日頃から話しやすい大人として、学校にいてほしいと思います。子供たちが話しかけやすいような関係づくりと支援側も日常的に付き合っていないと変化には気づけません。	状況によるので、再登校が一番適切であれば、学校のイベントや進学時をきっかけにして、学校に足が向く工夫は必要かと思います。	不登校であっても通える場所は必要不可欠かと思います。不登校を推奨するわけではなく、一つの選択肢として、高根沢町のひよこの家のようにオフィシャルな存在であることも重要です。	不登校になっても大丈夫ということはある程度は啓発する。そして、その子供たちが通える場があり、保護者が悩みすぎない環境、地域づくりが必要かと思います。 どんな状況でも人との関わりがあれば、成長しますし、成長する過程で他人は重要なので、選択肢を設けておくことが大人のできる事かと思っています。

- 設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。
- 設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
9	<p>不登校になった子供に対して、子供が望んでいないことはしない。スクールカウンセラーや心の教育相談員が、子供と信頼関係ができていて、子供が相談を望んでいるのなら別ですが。</p> <p>休息を保障する。</p>	<p>再登校を求めない。学校復帰を望まない。学校復帰を望まなければ学校復帰します。</p> <p>適応指導教室や宿泊体験館は子供が行きたければ行けば良いと思います。</p>	<p>教育機会確保法の趣旨にのっとりいろいろな居場所は必要だと思います。</p> <p>フリースクールはもちろん不登校特例校や夜間中学、もちろん家庭で育つホームエデュケーションなど。公設民営が望ましいです。</p>	<p>全ての子供に対して、いろいろな教育の場を用意し子供たちが選択できれば一番良いと思います。</p> <p>子供達には教育を受ける権利があって、国、地方公共団体、保護者には教育を受けられる場所を作る義務があります。</p> <p>ぜひ、那須塩原市が先駆者となって多様な学びを保障していただきたいと思います。期待しております。子どもは宝。みんな違ってみんないい。</p>

- 設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。
- 設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
10	<p>早期発見・早期対応のためには、学校の先生たちがスクールカウンセラーなどの心理職による定期的な面談（カウンセリング）を受けることが必要だと思います。</p> <p>先生たちが抱え込んでいる問題を早期に発見・対応できれば、子どもたちの SOS にも早く気づくことができると思います。</p>	<p>再登校支援は、在籍校に戻すということが目標になりやすいことが問題だと思います。</p> <p>再登校を目指さずに、その子にあった学校や居場所を探し、つなげていける支援が充実することが必要だと思います。</p>	<p>文科省の通達は一定の前進だと思いますが、そのことを知らなかったり、理解していない現場の先生が多いのが現状です。</p> <p>また、フリースクールや学校外の施設につながったとしても、出席や成績などの問題がクリアできないケースが多いです。</p> <p>まずは、フリースクールや学校外の施設と学校とが対等に継続的に対話できる機会を持つことから始めることを求めます。</p>	<p>一日も学校に通わなくても卒業できる「形式卒業」がある限り、不登校の問題に国や自治体が正面から向き合うことにはならないと思います。</p> <p>子どもたちが学校に通う権利があること、そのための環境整備は国や自治体の義務であることを確認し、多様な学びの機会を保障する議論を進める必要があると考えます。</p>

- 設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。
- 設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
11	<p>子ども達当事者からの声を聞いたことがありますか？医療現場の医師からの声を聞いたことがありますか？</p> <p>スクールカウンセラーは、子どもの心の声に寄り添うことができる若い存在であることが重要であり、教職 OB では限界であると感じる</p>	<p>学校が楽しいと感じる場所ではなくては、そもそも子どもは再登校しない。</p> <p>再登校させることを目的として子どもの心に寄り添えない支援はいったい誰のための支援なのか疑問である。教育現場での教育機会確保法の理解不足を改善するべきである。</p>	<p>コロナ禍で子どもの学習の権利を見直す機会となった。</p> <p>なぜ学ぶのか？誰のための学びなのか？</p> <p>教育現場サイドでは検討することが必要。フリースクールの存在は子どもの多様な学び、探求型スクールとして公立学校ではできないことを、民間人材を雇用し運営することで可能となる。</p>	<p>高根沢町のひよこの家に答えがある。</p>
12				

- 設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。
- 設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
13	<p>情報過多の時代、不登校になる子供たちは、不登校になっても誰かが助けてくれると信じていませんか、確かに手を差し伸べることは大事ですが、誰かが何とかしてくれると思わせてはいけません。</p> <p>不登校になったからって死んじやうわけではありませんが、メリット・デメリットを教えることも必要と感ずます。</p>	<p>本人がメリット・デメリットを体験するような場所の提供はどうでしょう。やりたいことを好きなだけできるが、人との接触は一切ない。</p> <p>ちょっと極端ですがはれ物に触るような対応は効果あるのでしょうか。</p>	<p>不登校にならなくても、成績が極端に悪い子供は沢山います。小学校の低学年で不登校になってしまうと、生きていくうえで必要な知識を得られない可能性はありますが、仕事をしてお金を稼がないと生きていけないことを教えてあげればよいのではないのでしょうか。</p>	<p>うちの子の同級生にも不登校の友達が何人もいました。</p> <p>多くの親が、うちの子は精神的な病気だと言っていますが、そんなことを言っていたら、何でも病気になってしまいます。</p> <p>過保護すぎる親からの隔離が良いのではないのでしょうか。</p>

- 設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。
- 設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
14	上記相談員という行政の配慮が逆に子どもたちが気軽に相談できない環境を生んでいると思う。特に思春期の子どもたちにとってはスクールカウンセラーや心の相談員などの改まった支援は逆効果に思う。	学びとは勉強（教科書）だけではありません。人生すべてが学びです。教育とは広い視野でみていかないとなりません。 最大の支援策は不登校・引きこもりという子どもたちの本気の抵抗に対してそれを受け止める本気の大人の存在。それに尽きるとおもいます。	学校がすべてではないと考えますのでフリースクールなど大賛成です。	支援策・制度の前に子どもたちの本気の抵抗に本気で受け止める大人が何よりも必要であると考えます。 子ども見守り宣言那須塩原市スローガンだけで終わらず、私自身身近な所から地域の子どもたちに関わっていきたいと思います。
15	カウンセラーの専門的な支援を積極的にお願いすることは大切です	一人一人違うので、いろんな角度からの支援策があることが望ましいと感じる	大切な見解だと思う	カウンセラーの充実

- 設問 6 子どもたち（小中学生）が不登校となった場合、那須塩原市では早期発見・早期対応策として、スクールカウンセラーや心の教室相談員などが相談にのるなどの支援をしています。早期発見・早期対応の支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 7 再登校支援策として、適応指導教室（学校復帰のための支援、引きこもりの児童生徒への支援、学校との連携）や宿泊体験館（生活習慣改善、自立心の育成、心のエネルギーの向上）などの支援策があります。再登校支援策についての意見をお聞かせください。
- 設問 8 文部科学省では「不登校児童生徒への支援の在り方」について、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す必要がある。また、不登校の時期が休養や自分を見つめ直す等の積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益や社会的自立へのリスクが存在することに留意するよう全国の教育委員会へ通知をしました。フリースクールなど学校外の施設について、皆様の意見をお聞かせください。
- 設問 9 不登校傾向にある子どもや不登校の子どもを支援するために、どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8	設問 9
16	支援策の内容を把握していないが、早期に対応することはとてもよいことと考える。	学校にいかなければならない、ということを意識させないで再登校できる支援策があることはいいことだと思う。	学校に行かなくても、最終的に子どもが自立することができればいいと思う。世の中で稼いでいる人は常に努力をしているし、そうでない人はなにもしていない。 自分自身が将来どうなりたいかを、大人がきちんと説明し導いてあげられる施設であればいいと思う。	

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
1	市民である	当事者	学校の集金袋も負担だし部活動の道具も負担。 ジャージも成長により買わないと ならないけど…高くて買えない。 部活動での送迎当番もガソリン代 や高速費も実費。強制が多すぎ。	住宅支援は戸建てだと断られる。	資格取得しても就職出来ない。
2	市民である	教育関係者又は児童委員	資本主義社会だからある程度は仕方 ないと感じる。	その辺りの制度について不勉強なの で難しいが、横との連携が必要と感 じます。	保護者の能力によるので一概に言 えない。

					保護者の経済自立を指すのであれば比較的簡単だが人間力たる養育能力については難しいと思う。
--	--	--	--	--	--

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
3	市民である	その他	本当に貧困なのか疑問を感じる。私生活をしっかり見て確認すべきである。	交通事故等での貧困なのかを行政はよく確認すべき。表面上、戸籍上の離婚で実家に入ると手当が受けられないので、安いアパートに入り実家で衣食したり、前夫が来たり、行ったり、と大型車に乗りファミレスに入り浸りとか、よく聞いたり見たりする。 困った家族に手当、免除をしっかりとすべきである。	その家族が本当に働いて、努力しているのか、贅沢していないのかよく確認し、近所での聞き込みも参考にすべき。 杓子定規の調査でなく、自分のお金を支払すると思ってしっかり調査して援助すべき。

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約 15% が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
4	市民である	この問題に関心がある	<p>那須塩原市でも相対的貧困率が 15% と分かり、全国の 13.5% を大きく上回りました。</p> <p>収入と貧困状態であることが結びつかないケースもありますが、雇用形態の変化や核家族での家族力低下、人に頼りづらい環境であることも要因になっているかと思えます。</p>	<p>SSW の方とのネットワークづくりも必要かと思えます。地域には多種多様な関係機関の人や住民の方がいるので、世帯全体に向けたアプローチや連携が困窮家庭への支援では重要かと思えます。</p> <p>経済的な支援、メンタル的な支援、環境への支援などは一つの機関、人では不可能です。</p>	<p>資格取得に意欲的な保護者も多いので、とても重要かと思えます。地元で就職してもらえぬ制度づくりも良いと思えます。</p> <p>ひとり親が働くと子どもの預かり先等の支出が増大するので、踏み切れない保護者も多いのも事実かと思われれます。</p>

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
5	市民ではない	教育関係者又は児童委員	現代の貧困は、一般的な貧困イメージとは大きく異なり、非常に見えづらいことに特徴があると感じています。	生活が困窮している家庭には、長期的な支援が必要ですが、子どもの年齢が上がっていくにつれて、支援が少なくなっていくのが問題だと感じています。	既存の自立支援については、経済的な影響を受けやすく、効果は低いと感じています。家賃補助や医療補助、高等教育の無償化など、家計や教育にかかる費用を減らす支援が保護者にとっても自立を支える支援になると思います。
6	市民ではない	当事者の家族又はその知人	子供達が平等に安心して安全に育っていける社会、子供達の可能性を守りたいと感じます	安心して話せるサポートが大切	○話す場 ○学ぶ場

					○仲間と共に学び自立に迎えたら素敵だなーと
--	--	--	--	--	-----------------------

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
7	市民である	この問題に関心がある	見えにくい貧困。 ぱっと子供を見ただけでは貧困家庭の子供かどうかわからない。	小中学校は誰でも通う権利があるはずなのに、お金がかかりすぎです。制服・体操着・教材・部活動でいくらかかりますか。 行政の支援が届きづらいのが部活動です。市内の中学校はほとんどが生徒全員に何かしらの部活に入るよう指導されています。貧困家庭の子供が一番つらいのは部活動ではないでしょうか。運動部に入りたくても	新聞折込の求人広告を見てください。ハローワークに行ってみてください。貧困から抜け出せる仕事がどれだけありますか。 市が取り組むべきは、雇用の確保です。多くの企業に那須塩原市に来ていただくことです。

				お金もかかるし、保護者の手間(当番等)もかかる。親に運動部に入ると言われてたり、言う親だつてつらい。親のことを考えると運動部には入れなかったという生徒もいます。	
--	--	--	--	--	--

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
8	市民である	教育関係者又は児童委員	<p>経済格差が広がり、子どもの相対的貧困率も高いと認識している。一方、統計上での数値は高いものの、実際に目に見える形での実感は少ない。貧困の状態が見えづらい状態にあることを示唆していると思う。</p> <p>また、所得再分配の効果の実態が不明瞭である。更に、貧困状態にある子どもがどこに助けを求めたらよいか分からず、学校でも相談しづらい</p>	<p>スクールソーシャルワーカーにより、相談がしやすくなったと感じる。</p> <p>しかし、毎日接触しているわけではないので、基本的な生活習慣の改善には至らず、不登校などの状態が長期化していると思う。</p> <p>また、放課後に残したり家庭訪問をしたりしているわけではないので、学習支援ができているとは思えない。就学支援のための無料塾の整</p>	<p>どのような理由で困窮状態にあるのかを丁寧に対応する必要があると思う。</p> <p>また、支援して終了するのではなく、継続的に家庭を見守る体制が必要であると思う。親の学歴と子どもの進学率との相関が高い。親への支援プログラムも必要だとは思いますが、子どもを育てるための支援が必要だと思う。</p>

		<p>状況があるのではないかと思う。親が支援を適正に求められていない実態もあると思うが、子ども自身も助けを求められない状況にあると思う。</p> <p>学習意欲の減退、進学率の低さ、自己肯定感の低下など、子ども達の育ちに大きく影響する問題であるにも関わらず、あまりよく分かっていない、というのが現状ではないだろうか。</p>	<p>備や教育外活動へのバウチャー制度などを積極的に取り入れてほしいと思う。バウチャー制度については、「チャンス・フォー・チルドレン」などの団体との協力もあると思う。</p>	<p>そのために、教育費や教育外活動費限定のバウチャー制度が良いと思う。生活と教育とをある意味で切り離して金銭的支援を行うべきであると思う。教育費への負担が減ることが、保護者負担を軽減することにつながると思う。</p>
--	--	--	---	---

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
9	市民である	教育関係者又は児童委員	離婚後の片親家族が増えているので、余裕の無い家庭も多いのではないかと。	ひとり親の家庭への支援を出来るだけ多くしてほしい。	資格取得の学習時に、子供を安心して預けられるシステムがあるといい。
10	市民である	当事者	特に1人親家庭は深刻であると思います。 それから、貧困であっても貧困と認めたくない、貧困であることを知られたくない方が多いように感じます。	支援を受ける事が恥ずかしいと感じている方も多いように感じます。 もっと気楽に支援が受けられると良いと思います。	苦しい生活をしていても生活保護を受けられない、受けたら抜け出せないと考えている方も多いと思います。 かと言って、ただ金銭的な支援だけをして甘えてしまい、自立にはならないと思います。

			また、個人情報法の規制もあるため、支援したくても出来ない状況にあり、何らかの仕組み作りが必要だと思います。		働く意志がある人と、あまり働きたくない人では、取れる対策は異なると思いますが、難しい問題だと感じています。
--	--	--	---	--	---

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
11	市民である	教育関係者又は児童委員	あまり、関わりがなく実感がありません！	本当に、生活に困窮しているのかが問題です！本人の生活意識を見直し、修正するのがさき。	本人の生活意識を確認して、本当に困っているのであれば、応援したい。
12	市民である	この問題に関心がある	保護者が健康上働けなくなると、収入が無くなりすぐに家計が苦しくなってしまう。シングルのお家庭でも、パート職で子育てしている家庭はとても苦しそうです。 親、子、孫と連鎖している家庭が多く感じます。	制服など、進学準備金が結構な金額になるので、制服や体操着など譲りあって助かるのではないかと思います。	自動車免許が無いと、勤めにも行けない交通事情ですので、免許取得の補助も必要かと思う

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
13	市民である	この問題に関心がある	昔より差が激しくなっている。スマホ等の普及により持っている、持っていないで、見た目にもわかってしまう場合があるように感じます。	困っていても声が届かない場合があるように思います。もっと別のルート確保が出来れば隅々まで支援が出来るのではと期待しています。	資格取得等のバックアップ時にお子さんを預かってくれるサポートを市で無料とかに補助出来れば、もっと安心して受講に迎えるのではと思います。
14	市民である	この問題に関心がある	○定職を持たない中、簡単に子どもを産んでしまい、DVなどで母子家庭になってしまう女性が多い。	○自分で情報を取り相談できる家庭には、有効な支援策がそろっていると思うが、孤立している家庭には中々支援策が届かない。	○資格取得の就労支援をどれほどの方が活用しているかわかりませんが、生活困窮家庭の保護者にはハードルが高いのではないかと思います。(通うためのお金、時間、能力の

		<p>○両親、親戚と疎遠になっていることが多く、地域でも孤立しているひとり親世帯が多い。</p> <p>○こうしたことから子どもの養育にも様々な問題が起こり、貧困の中、虐待やネグレクトにあう子どもが増えていると思う。</p> <p>○孤立する中で、生活苦、子育ての困難さから親自身も精神疾患やアル中などを抱え、家庭がさらに崩壊していく。</p>	<p>○学校や幼児施設、保健・福祉関係者等と連携を強化し、生活困窮家庭等を早期発見することが第1に必要と思う。</p> <p>○生活状況を隠そうとする保護者もいるので、家庭相談員や保健師など家庭を訪問する方の充実が大切だと思う。</p> <p>○このような状況から、気軽に利用できる子どもの居場所・保護者の居場所を用意する支援が望まれる。</p>	<p>問題など)</p> <p>○保護者のやる気を引き出すようなアドバイスのできる支援者が近くにいるような仕組みがあればよいと思います。</p>
--	--	--	---	--

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
15	市民である	この問題に関心がある	核家族が増え、地域など社会的なつながりが希薄になり、「自己責任」という考え方が蔓延してきている状況の中、気軽に相談したり声をかけたりする関係性が育ちにくくなっていると感じている。	義務教育をはじめ、子育てに過度のお金がかからないようにすべき。 幼保学校の給食も無料にし、さらに朝食も無料で学校で食べられるようになるとうい。	
16	市民である	教育関係者又は児童委員	未婚の親、ひとり親家庭、離婚率が高い、仕事が忙しく子育てに当てる時間、体力がない等、子どもを取り巻	親切に対応して下さっていると思う。	ひとり親家庭では、子育てしながらの仕事が長く続かないようです。 理解ある職場と頑張っている意識が大切だと思います。

			く環境が変化しており複雑になっている。		
--	--	--	---------------------	--	--

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
17	市民である	教育関係者又は児童委員	必死に取り組んでいると思う		
18	市民である	教育関係者又は児童委員	親力(おやりょく)が、足りないと感じる。 富裕層との差が大きすぎる。	支援は大切だと思うが、どこまで支援していけば良いのか、支援が必要か否かの線引きは？ 段階をつくっての支援をすべきだと思う。	問 4 と同様。

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
19	市民である	教育関係者又は児童委員	<p>問題点は、2つあると考えます。</p> <p>1つは、現状子どもたちが置かれている環境をどのように支援していくか、保護者の経済的自立をどう促し、支援していくかという短期の現実的対応。</p> <p>もう1つは、今後、貧困に向かいそのような状況にある弱年層に対する対策等の長期的な対応の両方が、必要と考えます。</p>	<p>現実には、スクールソーシャルワーカーでほとんど何も解決されていないのが現状です。又、小中学校でも学力の保障なども程遠い現実があります。保護者の就労が困難な場合や就労に対する賃金が少ない場合の公的な経済支援を本気で考えるべきです。</p> <p>ただし、給付型の奨学金を利用し高等教育を受ける場合は、大学卒</p>	<p>基本的には、義務教育段階で、学力の保障ができなかったことが、大きな要因で、それ以降の高等教育や、職業訓練ができず、専門職に就くことができなかったことが、成人後の賃金格差に繋がっている事です。基礎学力がないと、資格取得や就労も大変難しいと思われます。</p> <p>特にひとり親世帯は、学力の差が激しく、簡易な文章も理解できない</p>

				<p>業後、本市に戻り、就労する・起業する事や今回のコロナ禍で、テレワークが日常に近づいたように、本市に居住を持つことを付加的な条件に加えることも必要かと考えます。そうでないと、奨学金を受けながら、他県へ転出する人数が多くなってしまい、本市は間違いなく人口減になり、生産人口が減り、それは、少子化にも繋がっていきます。</p>	<p>保護者もいます。そうした保護者は、多くの場合、結婚離婚を繰り返し、結果何人もの子どもを育てる事になり、余計に就労に繋がらない事、場合によっては、祖父母の給与まで当てにする生活となってしまい、とても自立には至りません。</p> <p>従って、基礎学力から身に着けさせる数年単位の自立支援プログラムを策定しなければならない事、場合によっては、夜間中学からスタートし夜間高校終了時まで、支援し、就労に繋げることが必要になると思われます。</p>
--	--	--	--	---	--

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
20	市民である	その他	貧困の環境で育った子どもは十分な栄養が取れず、また心の内面の部分も満たされてない為、全てにおいて意欲が損なわれ学習面にも影響が非常に大きくあると思う。	<p>いろいろなサポートがある中で毎日の生活が必死で親の心に余裕がない為情報がきちんと全ての困窮な家庭に行き届いてないように思われる。</p> <p>小中学校の先生方にもいろいろな情報を分かってもらえるように徹底した周知が必要ではないでしょうか。</p>	就労支援や自立支援プログラムなど貧困世帯やひとり親世帯は生活に余裕がない為情報収集までの行動に至ってない状況で情報自体が届いてないと思います。

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
21	市民である	教育関係者又は児童委員	ひとり親家庭の増加、非正規雇用などによる収入の不安定などもそうですが、生活に必要なものの費用が高額化していると感じます。	市で行われている支援策は必要な家庭にとっても助かっていると思います。 ただ、書類を揃えて申請する時間は手続きに必要ですが、仕事や育児、家事に日々忙殺されている親にとってハードルが高いのではないかと感じます	就労したら支援が終了ではなく、継続して見守る体制も必要かと思います。 仕事をすることとは人と関わること、大なり小なりトラブルなど予想されます。職場に相談できる方がいればいいですが、気軽に相談できる継続した支援などで、安定した就労に繋がっていけばと思います。

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
22	市民である	教育関係者又は児童委員	<p>経済格差によって生じる教育格差による貧困の連鎖。親が貧困であると子どもは貧困から抜け出せない。それを是正するには社会全体で子育てをしていく必要がある。</p>	<p>那須塩原市の財政面での支援は手厚いと感じる。</p> <p>必要な支援ではあるが、それがもたらえることをあてにして簡単に離婚する夫婦がいるのではないか。</p>	<p>ひとり親が経済的に困窮するのは今の日本では仕方のないこと。簡単に離婚してしまうのは、上記のような金銭面での支援があるからという側面もあるのではないか。</p> <p>離婚しないためのサポート(カウンセリング)など、結婚生活をうまくつづけるためにどうすればよいかを支援するような制度も必要なのではないか。</p>

子どもの貧困対策

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 このテーマとの関連についてお伺いします。

設問 3 近年の日本では、貧困に悩まされる子どもの数が多く問題となっています。政府は国をあげて対策を行っていますが、現代的な貧困の特徴について、どのように感じているかお聞かせください。

設問 4 那須塩原市では、子どもたち（小中学生）や保護者に対して、スクールソーシャルワーカーによる相談支援、子どもの学力が確保できるように、学習支援員による学習支援や経済的理由により就学が困難と認められる子どもたちや保護者に対して、就学援助や給付型奨学資金などの支援、そして子どもの心身の健全な成長を確保するために、ひとり親医療費助成、保育料減免、住宅支援など、生活安定のための各種支援を行っています。生活が困窮する家庭に対しての支援についての御意見等をお聞かせください。

設問 5 那須塩原市が独自に行った子育て世帯生活実態調査結果によると、約15%が相対的な貧困状態にあり、その世帯では子どもの養育費を確保できている世帯は少なく、特にひとり親世帯については収入が低い状況にあります。市では安定した収入や所得の増大のための資格取得も含めた就労支援や自立支援プログラムなどを行っていますが、保護者の自立に向けた支援についての御意見等をお聞かせください。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4	設問 5
23	市民ではない	教育関係者又は児童委員	<p>○格差の広がりを感じます。最低賃金で働く人は、10年前は労働者の4%でしたが、今では16%に及びます。</p> <p>○非正規労働者の割合・人数の増加が貧困の背景の一つと考えます。非正規労働者は、S59(1984)年は15.3%604万人でしたが、H22(2010)年には34.4%1,763万人、R1(2019)</p>	<p>○乳幼児期の貧困率(再分配後)は、0～2歳で2.5%、3～5歳で1.1%増加し、他の年齢層では減少しています(2019,5,3 内閣府子どもの貧困対策に関する有識者会議・末富構成員提出参考資料)。</p> <p>○貴市における標記の各種支援は充実の方向性を有していますが、特に今後は乳幼児期への重点的配分が必要と思われます。</p>	<p>○2019.6月改正「子どもの貧困対策に関する法律」第15条6にある当事者の意見の反映、つまりひとり親世帯当事者からの意見の反映が、貴市の保護者に対する自立支援の有効性を高めるきっかけになると考えます。当事者の視点は、示唆に富むものが多く、分かっているつもりでも提供する側・支援者側では気づかない点が含まれています。</p>

		<p>には38.3%と増加しています(総務省等)。</p> <p>○生活保護受給の児童生徒数も、H7年度9万人から、H26年度14万人、就学援助数/率も小中学校 68万人/6.10%から 136万人/15.39%へと増加しています。</p> <p>○現在のコロナ禍の下、更に一見、子どもたちの携帯電話の所持や物に溢れた日常の姿からは分かりにくい子どもの貧困が、実は拡大していると感じています。</p>		<p>先の内閣府有識者会議においても、高校生とシングルマザーの意見が表明されました。</p>
--	--	--	--	--

設問 6 子どもの居場所対策では、市で行っている子育てサロンや学習支援、また民間団体等が行っている子ども食堂などがあり、引き続き支援を充実させるためには、行政のみならず、地域の力が必要になってきます。このような活動を行う NPO 等の関係団体に対して必要だと感じる支援について、御意見等をお聞かせください。

設問 7 子育て世帯生活実態調査において約 50% の世帯が各種支援制度を認知していないことがわかりました。支援が必要な世帯への支援制度を浸透させるために必要なことについて御意見等をお聞かせください。

設問 8 「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、今後どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見等があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8
1	子供食堂まで子供だけで行けない	もっと詳しく教えて欲しい。知っている人だけが得している。	高校入学なども支援して欲しい
2	比較的昔から活動している NPO への声かけや協力を声掛けしてはと思います。 また、市の予算で研修に出ても担当者が変われば引き継ぎされておらず全く活用されていないことが多い。	SNS 活用	子どもの自立心、生きる力を身につけさせること。
3	本当に必要で困っている家庭、人が多くいるのであれば、広報、回覧板等で広くお願いすべき。 一部の人たちでなく地域住民が協力すべきである。	問 6 と同じと思う。50 パーセントよりかなり少ないと思う。	行政があまり考えるべきでない。本人、家族が一生懸命働き、計画性をしっかり持ち無駄をせず生活すれば、貧困は発生しない。

設問 6 子どもの居場所対策では、市で行っている子育てサロンや学習支援、また民間団体等が行っている子ども食堂などがあり、引き続き支援を充実させるためには、行政のみならず、地域の力が必要になってきます。このような活動を行うNPO等の関係団体に対して必要だと感じる支援について、御意見等をお聞かせください。

設問 7 子育て世帯生活実態調査において約50%の世帯が各種支援制度を認知していないことがわかりました。支援が必要な世帯への支援制度を浸透させるために必要なことについて御意見等をお聞かせください。

設問 8 「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、今後どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見等があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8
4	<p>ボランティアによる活動がほとんどで、委託や補助金がある団体のほうが少ないことが現状。また、ある程度の活動期間がないと支援が受けられないことも辛い部分です。</p> <p>人材確保、活動資金や場所の確保、子ども食堂であれば食材費もあるので、活動団体からのニーズ確認をして、可能な限り検討をお願いしたいです。</p>	<p>支援制度は必要な状況にならないと、確認しないことがほとんどで、チラシやメールで流しても確認しないことが多いかと思われます。</p> <p>実際に活動している方からの話を保護者が聞く機会や子どもたちが知る機会があれば良いと思います。経済的な貧困でなくても、支援が必要な世帯もあるので。</p>	<p>寄付の文化の確率や、ふるさと納税活用、市内にある制度や団体が協働して動ける工夫が必要。</p>
5	<p>長期的な支援を続けるためにも、NPOスタッフがその仕事を継続していけるための補助金や助成金を増やすべきだと思います。</p> <p>NPOスタッフの給与水準はとて低いため、かれらの生活保障を充実させることが、長期的なアウトカムの保障になると考えます。</p>	<p>支援制度が申請主義となっていることに大きな問題があると思います。教育費の無償化など、誰でもその恩恵を受けるのであれば、経済格差なく支援を受けることができます。</p> <p>申請主義の見直しこそ必要だと思います。</p>	<p>子どもの貧困は社会の貧困の反映だと考えます。個人や家庭の自立を促すだけでは、結果的に自己責任に陥ります。</p> <p>教育と医療、福祉の支援がすべて無償化されれば、経済格差は広がらずに済むので、ダイナミックに政策の舵を切り替えるべきだと思います。</p>

設問 6 子どもの居場所対策では、市で行っている子育てサロンや学習支援、また民間団体等が行っている子ども食堂などがあり、引き続き支援を充実させるためには、行政のみならず、地域の力が必要になってきます。このような活動を行う N P O 等の関係団体に対して必要だと感じる支援について、御意見等をお聞かせください。

設問 7 子育て世帯生活実態調査において約 5 0 % の世帯が各種支援制度を認知していないことがわかりました。支援が必要な世帯への支援制度を浸透させるために必要なことについて御意見等をお聞かせください。

設問 8 「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、今後どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見等があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8
6	不登校の子供達の選択の場 学校をゴールとするのではなく、その子にあった学びの場 お母さんの駆け込み寺	情報をテレビやネットなど伝える	子供達が自分を責めるのではなく、可能性や夢を持てるような場
7			
8	市に活動を行う団体が存在していることを知らない市民が多いと思う。市民に現状を訴え、寄付やボランティアを募るなどの活動を行政が率先して行っていくべきであると思う。大きな協力はできなくても、小さな協力をしたいと考えている人はたくさんいると思う。 また、団体数が少ないため、地域に支援を受けられる場所があるという訳ではないと思う。より多くの団体が存在することが大切であると	乳幼児においては、健康診断の機会を利用し、所得などを把握している職員と連携して、話を聞く場にするとよいと思う。生活の状態からより適切な支援が受けられるようにアドバイスしたい。 学童期においては、学校が窓口になると考えられる。しかし、学校では、親の所得に関する情報は持ち得ていない。見えづらい、言いにくいことであるが、各学校でスクールカウンセラーへの相談があるように、生活についての悩みを	子どもの貧困は、残念ながらなくならないと思います。問題は、貧困状態にある子どもが、適切な基本的な生活習慣を身に付けられないこと、親子のふれあいが少ないこと、教育外活動が不十分であること、学習に困難さを抱えていること、進学・就職の際の選択肢が狭められていることなどが問題なのである。 貧困状態にあってもこれらを支援することで解消できるよう、子ども達を社会が育てるとい

<p>思う。折角の支援が、距離的な問題で受けられないというのは残念なことである。</p> <p>できることなら、各小学校区に1つそういった支援を受けられる団体があってほしい。</p>	<p>相談できる場を設けていくことが必要ではないかと思う。</p> <p>個別に話を丁寧に聞くことが、適切な支援に結び付く最良の方法だと思う。</p>	<p>う意識を市民がもっていることが大事であると思う。</p>
---	---	---------------------------------

設問 6 子どもの居場所対策では、市で行っている子育てサロンや学習支援、また民間団体等が行っている子ども食堂などがあり、引き続き支援を充実させるためには、行政のみならず、地域の力が必要になってきます。このような活動を行う N P O 等の関係団体に対して必要だと感じる支援について、御意見等をお聞かせください。

設問 7 子育て世帯生活実態調査において約 5 0 % の世帯が各種支援制度を認知していないことがわかりました。支援が必要な世帯への支援制度を浸透させるために必要なことについて御意見等をお聞かせください。

設問 8 「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、今後どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見等があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8
9	民間の幾重にもなる団体の確保を呼びかけられればいい。	民生委員ですが、わからないところもあるので、強化期間などで順次徹底していければどうか。	子供への支援制度の拡充と、地域全体での見守り、子育てができるようにがんばりたいと思っています。
10	<p>子ども食堂を運営していますが、現在利用してくださる方は、特に貧困ではない家庭の方がほとんどです。</p> <p>貧困の家庭の方と子ども食堂をつないでもらえるような仕組みがあるとありがたいです。</p> <p>それから、金銭的な支援や食材の支援もあってありがたいです。</p>	<p>昔のようにコミュニティが薄れている地域が多いと思います。</p> <p>地域の住民どうしで助け合えるのが一番良いのですが、一番の課題と言えらると思います。</p> <p>アパートにいて、新聞を取っていないで、班にも入っていないと、市の情報は全く入って来ません。不動産業者と連携して広報などを配布するのはどうでしょうか？</p>	<p>普通の飲食店でも、無料や安価で食べられるように、地域子ども食堂の加盟店を作り、一定額を市が負担するのはどうでしょうか？</p> <p>毎日でなく週一でも、飲食店が交代で活動していれば、毎日どこかでは食べられることになります。</p> <p>コロナで困っている飲食店も多いですし、飲食店にとっても良いのではないのでしょうか？</p> <p>子どもにチケットを渡しても良いと思いますし、困っている子どもが気楽に使えるような取り組みが出来ないのでしょうか？</p>

設問 6 子どもの居場所対策では、市で行っている子育てサロンや学習支援、また民間団体等が行っている子ども食堂などがあり、引き続き支援を充実させるためには、行政のみならず、地域の力が必要になってきます。このような活動を行う N P O 等の関係団体に対して必要だと感じる支援について、御意見等をお聞かせください。

設問 7 子育て世帯生活実態調査において約 5 0 % の世帯が各種支援制度を認知していないことがわかりました。支援が必要な世帯への支援制度を浸透させるために必要なことについて御意見等をお聞かせください。

設問 8 「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、今後どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見等があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8
11	子供たちの支援の前に、親の教育が出要だ！	ピアールの仕方の不足。 自治会、民生委員を活用する。	親の考え方を、良く聞き取って、親を指導していく。
12	ボランティア活動、ボランティア精神がなかなか根付かないようなので、小、中学校のうちからボランティアを体験させてあげたい。 市民活動センターなどで、率先してボランティア募るのはどうですか。	制度を知っていれば、利用できたのに残念という方が居ます。 広報もホームページも見ない方には、幼稚園の先生や学校の先生から周知してもらおう。	子供の教育費、特に大学の学費が高いので、希望の方には無料で通学できるように希望したい。
13	補助金やボランティア募集を市が前面に協力すればいいと思う。	何度も周知することが大切だと思います。困っている事を聞き取り必要な支援を使える様に促す。	貧困層の底上げをしてあげて欲しい。
14	○子育てに未熟な家庭、孤立しやすいひとり親家庭などには、リラックスして話せる子どもの居場所・保護者の居場所が身近にあるとよいと思います。	○問 4 で回答済み	○子どもの貧困は世代間連鎖することが分かっている。この連鎖を断ち切るための方策を実行することが重要。 ○親が社会的に孤立すると子も孤立を深め、学習意欲・言語能力・コミュニケーション能力等

<p>○NPO等は資金と人材・場所で苦勞していることが多いので、地域の元気なお年寄りやベテラン主婦等の手助けを得て、子どもの居場所・保護者の居場所が自治公民館等でも運営できればより充実した対策になると思います。</p>		<p>が低下する。子ども同士や地域の大人との関りも少なくなり、社会性を育てるという面から大きな支障を及ぼす。</p> <p>○親の孤立をなくすための支援が必要。</p> <p>○適切な養育ができない家庭の子どもを早期に発見し、子どもの居場所など社会で育てることが就労できる大人づくりにつながると思う。これにより負の世代間連鎖が断ち切れる。</p>
---	--	---

設問 6 子どもの居場所対策では、市で行っている子育てサロンや学習支援、また民間団体等が行っている子ども食堂などがあり、引き続き支援を充実させるためには、行政のみならず、地域の力が必要になってきます。このような活動を行う N P O 等の関係団体に対して必要だと感じる支援について、御意見等をお聞かせください。

設問 7 子育て世帯生活実態調査において約 5 0 % の世帯が各種支援制度を認知していないことがわかりました。支援が必要な世帯への支援制度を浸透させるために必要なことについて御意見等をお聞かせください。

設問 8 「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、今後どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見等があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8
15	<p>利用しやすい場所(学校、保育施設、公民館等)の提供。</p> <p>地域のたくさんの人が関われるよう活動を宣伝し窓口を広げる。ボランティアとして活動した人に、いつか自分がサービスを受ける側になった時に利用できる地域通貨等を付与する。</p>	<p>それぞれの子育て世帯に対し、生まれた時から成人するまでの担当のアドバイザーをつけ、困っていることを相談できるようにし、また、利用できる支援をもれなく周知する。</p>	<p>ベーシックインカム制度。学校の改革。教員は新卒で採用せず、3年以上の公務員以外の社会経験を積んだもののみ受験資格を得る。</p> <p>特に農林水産業などの一次産業や福祉施設での経験を重視(ポイントを高く)する。すでに採用されているものについては途中で2~3年体験する機会を作る。</p>
16	<p>地域での見守り活動、学校が休みの時の居場所作りによって、見逃されがちな子どもに支援できるのではないだろうか。</p>	<p>書類を読んで書くことが面倒と言う方もいます。自分の子どもの為なのに！と思うことも。根気強く伝えることでしょうか。</p>	<p>子どもを預けて安心して働ける環境、子育てを応援し親をサポートすること等。</p>
17	<p>支援団体職員報酬引き上げが必要と感じる</p>		<p>支援員の増加が必要と感じる</p>
18	<p>与えるだけの支援ではなく、自立に向けての支援、教育が必要だと思う。</p>	<p>妊娠時の手続きの際や乳幼児健診時に確認。</p>	

設問 6 子どもの居場所対策では、市で行っている子育てサロンや学習支援、また民間団体等が行っている子ども食堂などがあり、引き続き支援を充実させるためには、行政のみならず、地域の力が必要になってきます。このような活動を行うNPO等の関係団体に対して必要だと感じる支援について、御意見等をお聞かせください。

設問 7 子育て世帯生活実態調査において約50%の世帯が各種支援制度を認知していないことがわかりました。支援が必要な世帯への支援制度を浸透させるために必要なことについて御意見等をお聞かせください。

設問 8 「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、今後どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見等があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8
19	<p>これも前述の回答と似通ってしまうのですが、そもそも貧困や虐待が、その原因となっている以上、根本的な問題の解決無くして、本来の解決には繋がりません。</p> <p>対処的な対応は必要ですが、もう少し中長期的な取り組みが必要です。とは言え、こうした事業を継続していかなければならないのが、現実である以上、NPO等の団体だけに頼るのではなく、市の学校給食センターの弾力的な運営や民間の食堂・コンビニ・スーパー等の残菜の活用等、多方面の協力が必要かと感じます。そうした市の考えに賛同し、協力してくれる店舗に対して、何らかのアドバンテージを与えることも検討に値するのではないかと思います。</p>	<p>これも前述しましたが、こうした世帯の多くは、基礎学力が足りていないことが多いように思います。どのような情報発信が、効果的なのかを様々な方法を試す中で、より正解に近づいていくのではないかと思います。(文書、画像、訪問等)</p> <p>更に民生委員の活用等をより実効性の高いものへと変えていく事。浸透していないのには、何らかの理由があります。情報発信の方法・ツール・伝え方等をもう一度考えてみる必要がありますが、市には税務課等を通じ、各家庭の所得の把握が出来ている筈ですし、それ以外のデータベースには保護者や子どもの情報が多く書き込まれている筈です。</p>	<p>これも前述しましたが、「貧困の定義」をしっかりする事。例えば、自家用車は持っている、スマートフォンも持っている。だけど働かないから、或いはパチンコ等のギャンブルにお金を注ぎ込んでしまう。結果として「子どもの貧困」に繋がっているとしたら、「貧困の定義」は、正しいのか。</p> <p>親の就労支援は、就学の機会を与えることで、より安定した収入が確保できます。一方で、就労はしているものの、ギャンブル依存等による場合の治療制度の確立も必要です。</p> <p>子ども達には、最低限、高校終了時の学力を保障することで、就労支援に繋がり、給与を得る事で、結婚も可能となり、子どもを産み育てる事で、更に成長が出来るのではないかと考えると、それまでの期間、どのような経済支援や</p>

		<p>人権問題への配慮は必要ですが、活用できるものは、フルスペックで活用すべきだと考えます。</p>	<p>適切な環境を提供できるかが、大きな鍵になると思う。</p> <p>市として、そうした事を本気で支援しようとするなら、「貧困の定義」をはっきりさせ、その枠の中の子ども達に対しては、徹底的に保護・援助を制度化することが必要と考えます。</p>
--	--	--	--

設問 6 子どもの居場所対策では、市で行っている子育てサロンや学習支援、また民間団体等が行っている子ども食堂などがあり、引き続き支援を充実させるためには、行政のみならず、地域の力が必要になってきます。このような活動を行う N P O 等の関係団体に対して必要だと感じる支援について、御意見等をお聞かせください。

設問 7 子育て世帯生活実態調査において約 5 0 % の世帯が各種支援制度を認知していないことがわかりました。支援が必要な世帯への支援制度を浸透させるために必要なことについて御意見等をお聞かせください。

設問 8 「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、今後どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見等があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8
20	<p>貧困のご家庭の子供達は塾に通うことなど難しいと思います。その為、またそこで学力の格差が生じてしまいます。大学生のボランティアなどで学習支援の場が増えることを望みます。</p>	<p>支援が必要な各家庭へ訪問や電話等でコンタクトを取り面談するなど地道に発信していくしかないと思いました。</p>	<p>子どもの貧困をなくすには、まずは親の精神の安定をはかり支援をする必要があると思います。親が安定すれば子どもは救われます。親を支援する仕組みや制度をもっと増やす必要があると思います。</p>
21	<p>存続していくための資金の援助と関わってくれる人材が必要と思います。 そんな人材を集めて育てていく場も必要と思います。</p>	<p>子育て中の家庭が一種閉ざされた状況にいるのかも知れません。関わった場所や機関で案内はされていると思いますが、何度となく紹介したり、多く目につくようあらゆる方法で広報したり…なのでしょう。</p>	<p>学ぶ機会をすべての人が等しく受けられるようになればいいのかな？と思います。 子どもの学習にしろ、大人のスキルアップにしろ、親子でステップアップでき、状況が変わってもらえたらと思います。</p>
22	<p>学校や行政との情報共有。 また、居場所については、自治公民館の積極的な解放と、遊具などの整備にかかる費用の助成が必要。</p>	<p>学校ホームページにリンクを貼って、そのさきにわかりやすいポータルサイトがあればよいと思う。</p>	<p>親になるための学びが必要である。 そのためには一番聞く耳をもっている第 1 子を妊娠中に学べる機会を設けることが必要ではないか。</p>

	居場所や遊び場もつくらずして、ゲームやネットのやり過ぎを非難するのはどうかと思う。		産婦人科などとの連携も考えられる。夫婦生活カウンセラーなども必要。
--	---	--	-----------------------------------

設問 6 子どもの居場所対策では、市で行っている子育てサロンや学習支援、また民間団体等が行っている子ども食堂などがあり、引き続き支援を充実させるためには、行政のみならず、地域の力が必要になってきます。このような活動を行う N P O 等の関係団体に対して必要だと感じる支援について、御意見等をお聞かせください。

設問 7 子育て世帯生活実態調査において約 5 0 % の世帯が各種支援制度を認知していないことがわかりました。支援が必要な世帯への支援制度を浸透させるために必要なことについて御意見等をお聞かせください。

設問 8 「子どもの貧困」をなくし、子どもの明るい未来を支援するためには、今後どのような仕組みや制度が必要だとお考えですか。お考えや御意見等があれば、自由にお書きください。

番号	設問 6	設問 7	設問 8
23	<p>○コロナ禍において、休止・活動の制限・縮小を余儀なくされる N P O 等関連団体が多いとの報告がなされています。</p> <p>一方で、過密・閉塞感を伴う要支援家族の増加は、2020年1月から6月の児童虐待が、9万8千件との最悪の状況から想定できます。感染防止に取り組みつつ活動を再開し、消毒経費等の補助が必要な団体が多いとの報道もあります。貴市においても、寄付・食料品等の寄付が減少する中、当該団体への、感染予防への補助は必要かと考えます。感染対策が適切であると市民が判断すると、近隣地域からの支援も受けやすくなります。</p>	<p>○問5の意見にも関係しますが、支援が必要な世帯の方々は新聞・市広報誌等はもちろん、市町村のホームページ等にアクセスする余裕がありません。日々、生活に追われており判断力が弱くなっていたりします。</p> <p>○また、就労支援、自立支援プログラム、更には身近な子育てサロン、学習支援、子ども食堂、居場所づくり等への参加のためらい・不安・自信の無さ等もあります。孤立している状況に、知識と相談能力を持って「出前」ができる地域住民、行政・教職員・行政職員への研修・啓発活動が伴う必要があります。メニューはそろいましたので、あとは「質の向上」です。</p>	<p>○児童扶養手当について、一時金支給等の加算を行っていますが、これら給付金は滞納した家賃、電気代等に充てられ、貧困率は高止まりの状況にあるといえます。今後は、貴市における母子家庭の実態調査を実施し、把握に努めることでコロナ対策で極めて厳しい財源の有効活用に臨んでほしいと思います。</p> <p>○離婚・別居後の養育費不払いが、日本では7割強(75.3%厚労省 2016年)であり、ひとり親の貧困・子どもの貧困に直結しています。子どもと別居中も親には民法上扶養義務があります。兵庫県明石市は、期間限定で裁判の判決・公正証書等で養育費確定が行われたひとり親に、養育費5万円を2020,8,4養育費の立て替え分として振り込みました。同市は、2018年より養育費の取り立て代行の民間保証会社の保証料を一部</p>

			<p>負担してしまう(東京都・大阪市・仙台市等も同様)。同市は、更に 2020,8 月から調停申立書・公正証書作成費用の全額補助も始めました。今日の DV 被害の拡大の中、検討が必要と考えます。ちなみに養育費支援の取り組みは、米国、カナダ、イギリス、ドイツ、オランダ、韓国等で行政機関により取り組みがなされています。最後に、貴市の先進的な取り組みを、極めて厳しい財政事情ではあるものの、期待しています。</p>
--	--	--	---

6次産業化

設問1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問2 あなたの従事産業を教えてください。

設問3 本市または他市町村の『道の駅』などで販売されている農畜産品で、6次産業化によって作られた商品を購入されたことはありますか？
ある場合、ない場合での理由をお聞かせください。

設問4 本市では、市内農林畜産業の活性化に向けた取組みの一環として、那須塩原ブランドの認定があります。市内で生産・加工製造された農林水産品や特産品で現在23品目が認定されている中で、本市では6次産業化で商品化されている認定品は「千本松牧場牛乳」、豊かな湧水で育てた「塩原のいわな」、NASU WINE、赤松材の経木（きょうぎ）などです。上記のブランド品以外で、農林畜産業における6次産業化において、那須塩原ブランドに認定したらよいと思うお勧めの農畜産品はありますか。

番号	設問1	設問2	設問3	設問4
1	市民である	三次産業(流通・販売)	その商品が購入しなかったからであり6次産業のものであるかどうかは関係ない。但し値段に反映されている(廉価)という意味では関係ある。	特になし、また数を増やすのではなく少ないブランド数の中で市の知名度を上げることに寄与させてほしい。
2	市民である	三次産業(流通・販売)	○美味しそうだったのでそすいの郷の葛餅を購入した。 ○地元の野菜を加工しているので、アグリパル塩原のドレッシングとジェラードを購入した。	シャインマスカット
3	市民である	一次産業(生産)	ある。地域応援のため。	
4	市民である	三次産業(流通・販売)	地域の農畜産物を利用した商品導入をなるべくしている	そすいのみそ(そすいの郷直売センター)、アップルパイ、ミルクパン(そすいの郷直売センター)、イチゴジャム(そすいの郷直売センター)。

6次産業化

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 あなたの従事産業を教えてください。

設問 3 本市または他市町村の『道の駅』などで販売されている農畜産品で、6次産業化によって作られた商品を購入されたことはありますか？
ある場合、ない場合での理由をお聞かせください。

設問 4 本市では、市内農林畜産業の活性化に向けた取組みの一環として、那須塩原ブランドの認定があります。市内で生産・加工製造された農林水産品や特産品で現在 23 品目が認定されている中で、本市では6次産業化で商品化されている認定品は「千本松牧場牛乳」、豊かな湧水で育てた「塩原のいわな」、NASU WINE、赤松材の経木（きょうぎ）などです。上記のブランド品以外で、農林畜産業における6次産業化において、那須塩原ブランドに認定したらよいと思うお勧めの農畜産品はありますか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4
5	市民である	三次産業(流通・販売)	ある	<input type="checkbox"/> チーズやヨーグルトなどの乳製品 <input type="checkbox"/> 温泉まんじゅう <input type="checkbox"/> 地域に古くから伝わる伝統料理

設問 5 那須塩原ブランド認定品や6次産業化によって作られた商品の効果的な PR 方法について、アイデアがありましたらお聞かせください。

設問 6 市民の方々や農林畜産業者が6次産業化に新規参入するためには、どのような PR や取組みが必要だと思いますか。

設問 7 6次産業化に関わるそのほかのことで、御意見等がありましたらお聞かせください。

番号	設問 5	設問 6	設問 7
1	まずは市民に知ってもらうこと。		
2	sns や動画配信	○施設の整備 ○コンセプト ○6次産業参入マニュアルやガイドライン	
3	製造工程を見える化、サプライチェーンの見える化	身近な成功事例	
4	道の駅や農村レストラン、直売所や道の駅等、協力してくれるところに、陳列コーナーを設けて PR する。	市のバックアップ、農業のテコ入れ、料理教室の場所を提供。	
5	○人が多い場所（首都圏）での PR（コロナ終息後） ○六次化商品ストーリーの設定 ○市ふるさと納税等での活用や PR ○市民から他市町村へのお歳暮やお中元への活用推進	○六次化した商品の販路拡大 ○六次により生計が成り立つ仕組みづくり ○参入時の施設や機械の補助	市ブランド認定品優遇（ブランド認定された特権）が必要

生乳生産本州一

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 あなたの御職業をお伺いします。

設問 3 本市は生乳生産本州一ですが、更なる周知を図るためにどのような PR 方法があると考えますか。御意見をお聞かせください。

設問 4 本市では「牛乳等による地域活性化推進条例」(通称:牛乳で乾杯条例)や、「那須塩原市牛乳の日」(9月2日)を制定しています。

そのほかに、地域全体の活性化や普及促進のためにはどのような企画やイベントが必要だと考えますか。

番号	設問 1	設問 2	設問 3	設問 4
1	市民である	その他	市民がその事を知らないのでまずそれを知らせる事。友人知人に聞いて知っていた人は皆無。学校教員や市役所勤含む。	まず、乾杯条例や牛乳の日について初めて知りました。直接農業に関係ないイベントは積極的に参画して人と人との関係を作り認知してもらうことが必要と思います。
2	市民である	その他	道の駅や直売所、旅館等に牛乳の自販機設置や販売をして、その際、機会や牛乳の仕入れに補助金を出したりするなど、町全体で取り組む。	協力してくれる直売所や道の駅、スーパーの入り口に大きな看板やモニュメントを設置したり、那須塩原駅に牛乳バーなどを設ける。
3	市民である	牛乳・乳製品販売者	○本市に乳製品が加工できる施設の誘致 ○いつでもどこでも牛乳が飲める街づくり	○牛に触れる身近に感じるができるイベント ○酪農家をよく知ってもらう取組み
4	市民である	その他	名産を作る	牛乳の日に牛乳を配布する
5	市民である	その他		

設問 5 牛乳の消費拡大を図るため、那須拓陽高校と市が共同開発した乳酸菌飲料「拓陽キスマイル」や本市の乳製品を使ったオリジナルチーズフォンデュがあります。そのほかにどのような新商品が考えられますか。アイデアをお聞かせください。

設問 6 酪農家の課題として(担い手の高齢化・離農による酪農個数減少)様々な事がありますが、酪農経営を継続するためにどのような支援等が必要だと思いますか。

設問 7 ほかの自治体では、資源循環型社会の構築に取り組んでいるところもあります。安心安全な酪農品の生産を図るため地域との共存や課題解決のため、どのようなことができると考えますか。

設問 8 生乳生産本州一に関するそのほかのことで、御意見がありましたらお聞かせください。

番号	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8
1		<p>ヘルパー制度は充実していると思います。ただ酪農に限らず農業（一次産業）は高齢化してと資料で見ました。</p> <p>魅力のない仕事にはありつけないと思うのでどこで魅力をつけさせるかを考えるべきだと思います。</p>	<p>本家が酪農業です。</p>	
2	<p>そもそも、市民に知られていないので、もっと身近に、チーズやピザの普及に力を入れたり、地域でチーズ作り教室などに助成したらどうか。</p>	<p>外国人を入れるのが一番近道である。</p> <p>市が、農協と協力して窓口を設置したらどうか。</p>	<p>土地利用型(水田等)と連携して、堆肥の利用やバイオマスに力を入れる。</p>	

設問 5 牛乳の消費拡大を図るため、那須拓陽高校と市が共同開発した乳酸菌飲料「拓陽キスマイル」や本市の乳製品を使ったオリジナルチーズフォンデュがあります。そのほかにどのような新商品が考えられますか。アイデアをお聞かせください。

設問 6 酪農家の課題として(担い手の高齢化・離農による酪農個数減少)様々な事がありますが、酪農経営を継続するためにどのような支援等が必要だと思いますか。

設問 7 ほかの自治体では、資源循環型社会の構築に取り組んでいるところもあります。安心安全な酪農品の生産を図るため地域との共存や課題解決のため、どのようなことができると考えますか。

設問 8 生乳生産本州一に関するそのほかのことで、御意見がありましたらお聞かせください。

番号	設問 5	設問 6	設問 7	設問 8
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ワインに合うチーズ等の開発 ○カゴメとのコラボによる乳飲料の開発と販売 ○大きなチーズ工房があるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ○酪農インターンシップ ○ヘルパーの育成 ○空き家等を活用した担い手の誘致 ○ヘルパーを使える環境造り（資金等も含め） 	<p>耕畜連携を進め安心安全な飼料の確保</p>	<p>生乳生産だけでなく、生乳消費日本一を目指す</p>
4		<p>酪農家には休みがなくいいイメージがないそれに特化したシステム作りが必要である</p>		
5			<p>隣の家の畑で堆肥があって臭いがひどくて生活しづらいので、臭いやし尿の問題を解決して欲しい。</p>	

その他

設問 1 あなたは那須塩原市民ですか。

設問 2 意見や要望等を自由に御回答ください。

番号	設問 1	設問 2
1	市民である	他の市町村でやっている情報公開をさらに推し進めてほしい。 都市計画審議会等の議事録や委員会録が、2020年代になっても未だにホームページ上で見られないのはかなり遅れていると感じる。
2	市民である	多くの市民の声を直接聞く機会は重要である。

3 考察

考察

今回の議会報告会及び意見交換会は、ICTを活用し、インターネットを使用して開催を行った。議会報告は動画を作成し YouTube サイトへアップを行い、意見交換の代わりに行ったテーマを設定したアンケートは市議会のホームページを使用した。この報告会の市民への周知においては、SNS については、市の広報ツールを利用させていただき、議会だよりにも取り組みを掲載して行った。

定例の議会報告会と違い、今回はインターネット開催とあって、その環境と、方法がわからない市民の方の参加が難しかったと思われるが、議会報告会では、議会の報告動画の視聴回数が 1,983 件、意見交換にあたるアンケート投稿数は 72 件という結果となった。この件数についての判断は初開催ということで、今後も検証を行っていきたいと考える。

9月の定例会において、議会基本条例の見直しが行われ、議会報告の内容を定例会報告のみにとらわれず、議会に関することすべてものが対象となった。今後は報告内容の充実を図ることができると考える。また、意見交換のみを行うことも可能となったため、新たな手法を取り入れて、今後のコロナ禍でも実施できるように、内容の充実を図っていきたいと考える。

最後に、御協力いただいた関係各位に感謝を申し上げ報告とする。